

令和2年度 事業報告書

『公益目的事業』

〔芸術文化センター関係〕

新型コロナウイルス感染症拡大への対応（概要）

基本方針

- ①「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定による感染症対策の徹底（6/6 策定、7/16、11/5、11/25 改定）
- ②「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」（専門家）による監修を通じた「安全・安心」な運営（肩書は当時）
 - ・吉田友昭（藤田医科大学医学部教授）〔生物学・ICD 感染制御医〕
 - ・浮村 聡（大阪医科薬科大学医学部専門教授（大阪医科薬科大学附属病院感染対策室長））

◆令和2年4月7日：新型インフルエンザ等対策特別措置法による「緊急事態宣言」発出
（措置期間：4/8～5/6 まで、のち 5/31 まで延長、6/2～業務再開）

【休館（4月8日～5月31日）から公演再開に向けた準備（6月）】

- ① 高松公園に横断幕を設置（4月22日～7月1日）
- ② すみれの花咲く頃プロジェクト（YouTube 配信企画）（4月21日～6月15日）
- ③ 「兵庫県立芸術文化センター新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定（6月6日）
- ④ オーケストラ公演の再開に向けて～ディスカッションとデモ演奏～（6月19日）
- ⑤ Meet-HPAC リサイタルホールから（YouTube 配信企画）（6月16日から12月4日）
- ⑥ 全館消毒・抗菌剤塗布（6月25日～30日）

【公演再開のための助走（7月～8月）】

- ① 「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」の委嘱（7月1日～）
- ② 「心の広場プロジェクト」の展開（7月4日から8月22日）
 - ・全面的な（有観客・有料）公演の再開に向けた第一歩として企画したチャリティイベント。

【通常公演再開（9月1日～）】

◆令和3年1月13日：新型インフルエンザ等対策特別措置法による「緊急事態宣言」再発出
（措置期間：1/14～2/7 まで、のち 3/7 まで延長後、3/1 解除 開催・施設利用制限は 3/7 まで）

【イベント制限を踏まえた開館】

- ・開催制限 ①人数上限 5000 人、かつ、収容率要件 50%以下 ②20 時までの営業時間短縮
- ・施設利用制限 20 時までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）

※事業の詳細は、以下の報告内に記載

新型コロナウイルス感染症拡大への対応した事業の内容

① 高松公園に横断幕を設置（4月22日～7月1日）

「みなさんにホールでお会いできる日を心待ちにしています。佐渡裕」と記載した横断幕を
芸文センター2階テラスに高松公園に向けて掲揚。また、同内容のポスターを周辺地域に掲出。

② すみれの花咲く頃プロジェクト（4月21日～6月15日）

「すみれの花咲く頃」を KOBELCO 大ホールでひとり指揮する佐渡監督、自宅で演奏する PAC メンバーの動画に合わせて、募集した楽器演奏、歌、ハミング、ダンス、手拍子などの動画を共演するかたちに編集し YouTube 配信。

投稿者数 400 組 動画 33 パターン

視聴回数 23.2 万回（現在も配信中）

③ オーケストラ公演の再開に向けて～ディスカッションとデモ演奏～（6月19日）

公演再開に向けての取り組みの一つとして、感染症対策を施したうえ実施した、佐渡裕芸術監督、下野竜也氏（指揮者）、川久保賜紀氏（ヴァイオリニスト：リモート出演）が対談、両指揮者による兵庫芸術文化センター管弦楽団のデモ演奏。

6月19日（金）KOBELCO 大ホールにて開催、関係者のみ、YouTube 無料配信

視聴回数 2.0 万回（現在も配信中）

④ Meet-HPAC リサイタルホールから（6月16日から12月4日）

PAC コアメンバーが神戸女学院小ホールで無観客演奏した内容をオンライン配信。本格的な室内楽作品からテレビ等でおなじみの曲、世界各地から集まったメンバーにまつわる曲など、さまざまなジャンルの音楽を提供。

YouTube 無料配信で Vol. 24 まで展開

視聴回数 6.2 万回（現在も配信中）

⑤ 「心の広場プロジェクト」の展開（7月4日から8月22日）

全面的な公演の再開に向けての第一歩として、感染拡大防止策を徹底した上で、心の拠り処となる舞台芸術を楽しめるプロジェクトとして企画。

本プロジェクトはチャリティイベントとし入場料は、「ひょうご新型コロナウイルス対策支援基金」（医療従事者への支援基金）へ、全額寄付した。

・『どんな時も歌、歌、歌！～佐渡裕のオペラで会いましょう（7月23、24日開催）』は、緊急事態宣言解除後、全国で初の合唱・独唱・オーケストラが共演する公演。

「新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー」による感染症対策の外、大ホール内の気流の検証のためのスモーク実験も監修。

公演詳細 （9 事業 11 公演 入場者数:2,214 名 入場料:4,125,500 円）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
PAC2019-20 シーズン リバイバル室内楽 (神戸女学院小ホール)	2. 7. 4 (1公演)	出 演：兵庫芸術文化センター管弦楽団メンバー ※佐渡芸術監督の舞台挨拶あり (入場料：500 円)	67
高本一郎～ゆったりコンサート～ (神戸女学院小ホール)	2. 7. 11 (1公演)	出 演：高本一郎（リュート） (入場料：500 円)	73

剣 幸 朗読コンサート (阪急中ホール)	2. 7. 18 (1公演)	出 演：剣 幸 (入場料：1,000 円)	265
リコイン・アンコール・コンサート 酒井有彩 (神戸女学院小ホール)	2. 7. 19 (1公演)	出 演：酒井有彩 (ピアノ) (入場料：500 円)	75
能囃子コンサート (阪急中ホール)	2. 7. 22 (1公演)	出 演：成田達志 (小鼓)、山本哲也 (大鼓)、竹市 学 (笛)、 前川光範 (太鼓) (入場料：1,000 円)	133
どんな時も歌、歌、歌！ ～佐渡裕のオペラで会いま しょう (KOBELCO 大ホール)	2. 7. 23 ～24 (2公演)	指 揮：佐渡 裕 出 演：並河寿美 (ソプラノ)、清原邦 仁 (テノール)、水口健次 (テ ノール)、大山大輔 (バリト ン)、片桐直樹 (バリトン)、 ひょうごプロデュースオペ ラ合唱団メンバー 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 (入場料：3,000 円)	650
桂吉弥の会 (阪急中ホール)	2. 8. 1 (1公演)	出 演：桂 吉弥、桂 歌之助、 桂 弥太郎 (入場料：2,000 円)	292
Cutting Edge KYOGEN (阪急中ホール)	2. 8. 9 ～10 (2公演)	出 演：茂山千五郎、茂山宗彦、茂山 茂、茂山逸平、茂山千之丞 (入場料：1,000 円)	427
上方次世代落語好敵手の会 2020 (阪急中ホール)	2. 8. 22 (1公演)	出演】笑福亭鉄瓶、桂 佐ん吉、笑福 亭べ瓶、桂 吉の丞 (入場料：1,000 円)	232
合 計 9事業 11公演			2,214

芸術文化センターの運営

〔事業展開の基本コンセプト〕

- ① 多彩な舞台芸術の『創造・発信』
- ② 芸術性豊かなものから親近感に富むものまで、『幅広いニーズ』に応える上演
- ③ 舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

1 芸術文化センター事業

(1) 佐渡芸術監督プロデュースオペラ・コンサート公演 (KOBELCO 大ホール)

佐渡裕芸術監督ならではの企画による制作・上演。プロデュースオペラは全国的にも珍しい全8回ロングラン公演を展開している。

但し、令和2年度の佐渡芸術監督プロデュースオペラ「ラ・ボエーム」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和4年度に公演延期とした。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
ジルヴェスター・コンサート *冠協賛：アサヒグループホールディングス株式会社 H20年から13回目 協賛継続要望中	2. 12. 31 (1公演)	指 揮：角田鋼亮 出 演：腰越満美、高橋維、山本耕平、与那城敬、晴雅彦 ほか 管弦楽：兵庫芸術文化センター管弦楽団 演 出：家田淳	1, 159
合 計	1 事業	1 公演	1, 159

※芸術文化センター管弦楽団演奏会は別記

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
「ラ・ボエーム」(新制作 15 作目) ※令和4年度に延期 (全4幕／イタリア語上演・日本語字幕付き／新制作) 〔関連公演〕2事業9公演 *「ハイライトコンサート～ええとこどり！」 県内5会場(丹波篠山市 4/18、洲本市 4/19、明石市 4/29、三田市 5/16、西脇市 5/17)と芸文センター(4/15～16) * ワンコイン・プレ・レクチャー(同日2回) 5/27 (講師：中村敬一、出演：砂川涼子) * 前夜祭 7/23(高松公園)主催：西北活性化協議会	2. 7. 24 ～8. 2 (8公演)
合 計	1 事業 8 公演 (県内 9 公演)

(2) 独自の企画制作・プロデュースによる演劇公演等 (阪急中ホール)

芸文センター独自に企画・制作し上演する良質で多彩な演目により、新たなファンを発掘した。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
演劇・シアターコンサート 大好きなお母さんへ —冷蔵庫のうへの人生—	2. 8. 29 (2公演)	演 出：須藤黄英 出 演：水 夏希 土井ケイト ピアノ演奏：大貫祐一郎	195
母と娘をつなぐ言葉 —冷蔵庫のうへの人生—	2. 9. 4 ～5 (2公演)	演 出：石丸さち子 出 演：彩吹真央、木下晴香 ピアノ演奏：大貫祐一郎	267

演劇・シアターコンサート	愛しいクレアへー冷蔵庫のうへの人生ー	2. 9. 26 ～27 (2公演)	演 出：須藤黄英 出 演：一路真輝、藤野涼子 ピアノ演奏：林 正樹	303
	兵庫県立芸術文化センタープロデュース シアターコンサート sound theater X	2. 10. 31 ～11. 1 (2公演)	出 演：TSUKEMEN ほか (6/6、6/7の振替公演)	656
		2. 11. 3 ～11. 4 (2公演)	出 演： レ・フレール、石川直、RON×Ⅱ、稲本渡 (6/13、6/14の振替公演)	629
	キオスク (キューブと共同制作)	3. 1. 22 ～24 (3公演)	作：ローベルト・ゼーターラー 翻 訳：酒寄進一 演 出：石丸さち子(姫路市出身) 出 演：林 翔太、橋本さとし、大空ゆうひ、上西星来 ほか	1,027
		3. 2. 11～ 2. 21 (11公演) 3. 2. 23 (1公演) 3. 2. 25 (1公演) 3. 2. 27 (1公演)	【東京公演】 東京芸術劇場プレイハウス(主催：キューブ) 【静岡公演】 静岡市清水文化会館(マリナート)大ホール(主催：テレビ静岡/キューブ) 【愛知公演】 日本特殊陶業市民会館ビレッジホール(主催：東海テレビ放送) 【広島公演】 広島JMSアステールプラザ大ホール(主催：テレビ新広島)	—
古典芸能(河内特別参与企画)	ひょうご能「土蜘蛛・替間狂言<土隠>」	2. 10. 24 (1公演)	出 演：上田拓司、善竹隆司、 善竹隆平、福王知登 ほか	354
	宮城道雄の世界 和と洋が響きあう～「春の海」 (神戸女学院小ホール)	3. 3. 7 (1公演)	出 演：片岡リサ、北浦洋子、古澤侑峯 ほか	202
合 計 8事業 15公演 (外部公演14公演)				2,868

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
【古典芸能】 ひょうごの民俗芸能祭第2弾 ～五国のまつりと城めぐり～ ※令和3年度に延期	2. 9. 5 (1公演)
合 計 1事業 1公演	

(3) 幅広いニーズに応える公演（自主企画制作・招聘・提携・共催事業等）

① 新国立劇場、東京文化会館との連携によるオペラ

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
クリスマス・オペラ 「アマールと夜の訪問者たち」 (日本語上演/日本語字幕つき) (東京文化会館との提携公演・堺シティオペラとの共同制作) (阪急中ホール)	2. 12. 25 (2公演)	作曲・台本：ジャン＝カルロ・メノッティ 指 揮：牧村邦彦 演 出：岩田達宗 美術：松生紘子 出 演：古瀬まきを、福原寿美枝、総毛創、福嶋勲、武久竜也、水口健次 合 唱：堺シティオペラ記念合唱団、宝塚少年少女合唱団 ダンサー：宮原由紀夫、佐藤惟 演 奏：關口康祐、蔭山晶子、福田奈央子 オープニングトーク：井上智	629
合 計 1 事業 2 公演			629

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止

演 目	公演予定年月日
楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」 (全3幕/ドイツ語上演/新制作) (KOBELCO 大ホール)	2. 7. 5 (1公演)
合 計 1 事業 1 公演	

② ベートーヴェン生誕 250 年特別企画 (令和2年1月～12月)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
ベートーヴェン ～弦楽四重奏への誘い ・前橋汀子カルテット (神戸女学院小ホール)	2. 11. 25 (1公演)	出 演：前橋汀子カルテット	305
ベートーヴェン「不滅の恋人」への手紙 (阪急中ホール)	2. 11. 28 ～29 (3公演)	演 出：栗山民也 出 演：一路真輝、田代万里生 ほか	1,084
合 計 2 事業 4 公演			1,389

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
ベートーヴェン室内楽選 ①クレメンス・ハーゲン&河村尚子 チェロ・ソナタ (神戸女学院小ホール)	①2. 4. 11 ～4. 12 (2公演)
②ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト (神戸女学院小ホール)	②2. 11. 23 (1公演)
ベートーヴェン ～弦楽四重奏への誘い ・ジュリアード弦楽四重奏団 (神戸女学院小ホール)	3. 1. 23 (1公演)

ベートーヴェン ピアノソナタを味わう ①仲道郁代 ピアノ・リサイタル ～音楽における十字架 (KOBELCO 大ホール) ②アレクサンダー・コ布林 ※令和3年度に延期 (KOBELCO 大ホール) ③シプリアン・カツァリス ピアノ・リサイタル (KOBELCO 大ホール)	①2. 5. 10 (1公演) ②2. 10. 3 (1公演) ③3. 3. 11 (1公演)
ベートーヴェン歌曲集 リートを聴く ベンヤミン・アップル (バリトン) ～君を愛す (神戸女学院小ホール)	2. 9. 13 (1公演)
巨匠によるベートーヴェンのピアノ協奏曲 ツィメルマン&ルツェルン交響楽団 (KOBELCO 大ホール)	2. 11. 15 (1公演)
ドイツの名門で聴くベートーヴェンの交響曲 ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団 (KOBELCO 大ホール)	2. 12. 5 (1公演)
合 計 9 事業 10 公演	

③ 国内外オーケストラ・オペラ・バレエ・室内楽公演等 (KOBELCO 大ホール)

音楽マネジメント事務所等との連携により、世界水準のオーケストラ、オペラ、バレエ公演をはじめ、様々な国の優れた舞台芸術を上演し、観客の期待に応えるとともに、大規模舞台芸術専門劇場としての存在感をアピールした。

※(再掲)はベートーヴェン生誕250年特別企画

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
オーケストラ・音楽	堀米ゆず子 無伴奏ヴァイオリン	2. 11. 7 (1公演)	ヴァイオリン：堀米ゆず子	915
	佐渡 裕／反田 恭平 with ジャパン・ナショナル・オーケストラ 特別編成 [朝日放送共催]	3. 3. 14 (1公演)	指揮：佐渡裕 ピアノ：反田恭平	1,791
オペラ・バレエ・舞踊等	東京バレエ団 くるみ割り人形 [読売テレビ共催]	2. 12. 22 (1公演)	台本：マリウス・プティパ 改定演出／振付：斎藤友佳理 管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団	1,064

音楽一般	のだめカンタービレの音楽会 [関西テレビ共催]	2. 10. 31 ～11. 1 (2公演)	指揮：茂木大輔 管弦楽：日本センチュリー交響楽団 (11/1のみ) (8/9、8/10の代替公演)	2, 373
	ジャパン・ヴィルトゥオーゾ ・シンフォニー・オーケストラ 第9回兵庫公演 [メイ・コーポレーション共催]	3. 1. 4 (1公演)	指揮：大友直人 プロデュース：三枝成彰 管弦楽： ジャパン・ヴィルトゥオーゾ・シンフォニー・オーケストラ	1, 472
合 計 5 事業 6 公演				7, 787

※共催事業：①芸文センターのコンセプトに合致、ラインナップとバランス・整合・補強するもので、②共催者からの提案・事業誘致（営業）によって選定し、③広報券売協力に加え、収支リスク負担・施設設備使用料負担について条件協議を行う事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
【オーケストラ・音楽】	
ツィメルマン&ルツェルン交響楽団 (再掲)	2. 11. 15 (1公演)
バイエルン放送交響楽団	2. 11. 28 (1公演)
内田光子&マーラー・チェンバー・オーケストラ	2. 12. 2 (1公演)
ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団 (再掲)	2. 12. 5 (1公演)
ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ	3. 1. 10 (1公演)
ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団	3. 2. 28 (1公演)
ウィーン交響楽団	3. 3. 6 (1公演)
チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ	3. 3. 12 (1公演)
佐渡裕 トーンキュンストラ管弦楽団 [朝日放送共催]	3. 3. 14 (1公演)
【オペラ・バレエ・舞踊等】	
モーリス・ベジャール・バレエ団 バレエ・フォー・ライフ	2. 5. 23 (1公演)
関西二期会 オペラ「ドン・ジョヴァンニ」 ※令和4年度に延期 [関西二期会共催]	2. 10. 24 ～25 (2公演)
ハンプルク・バレエ団 [読売テレビ共催]	3. 3. 25 (1公演)
【音楽一般】	
宮川彬良&アンサンブル・ベガ こどもの日スペシャル	2. 5. 5 (1公演)

仲道郁代ピアノ・リサイタル (再掲)	2. 5. 10 (1公演)
ベルリン・フィル八重奏団	2. 5. 24 (1公演)
ノルディック・ウーマン [民音共催]	2. 11. 5 (1公演)
レイフ・オヴェ・アンスネス	2. 12. 6 (1公演)
合 計	1 7 事業 1 8 公演

④ 演劇・ミュージカル・古典芸能公演等（阪急中ホール）

年度前半はコロナの影響で全ての公演が中止となったが、9月以降は、当センター及び製作元の感染対策の徹底によりストレートプレイ、一人芝居などの演劇をはじめ、ミュージカル、狂言、落語など、例年と同等の多彩な演目を提供することができた。

※（再掲）はベートーヴェン生誕250年特別企画

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
演劇・ミュージカル等 (良質な作品制作実績のある公共劇場との連携)	真夏の夜の夢 *東京芸術劇場との連携	2. 11.20 ～22 (3公演)	演 出：シルヴィウ・プルカレーテ 出 演：鈴木杏、北乃きい、加治将樹、矢崎 広 ほか	1,822
	星の王子さま *KAAT 神奈川 芸術劇場との 連携	2. 12. 12 (2公演)	振付・演出：森山開次 出 演：森山開次 ほか	763
	ピーター＆ ザ・スター キャッチャー *新国立劇場 との連携	3. 1. 9 ～10 (2公演)	演 出：ノゾエ征爾 出 演：入野自由、豊原江理佳、宮崎吐夢 ほか	493
	人 間 合 格 (こまつ 座)	2. 8. 8 (1公演)	演 出：鵜山仁 出 演：青柳 翔、塚原大助、伊達 暁、 益城孝次郎、北川理恵、栗田桃子	367
	ケムリ研究 室 no.1「ベ イジルタウ ンの女神」 (キュー ブ)	2. 10. 1 ～4 (5公演)	作・演出：ケラリーノ・サンドロヴィッチ 出 演：緒川たまき、仲村トオル ほか	1,714

演劇・ミュージカル (幅広いファンにアピールする公演・エンターテイメント性の高い公演の招聘)	朗読劇「日の名残り」	2. 10. 6 (1公演)	上演台本・演出：村井 雄 出 演：眞島秀和、大空ゆうひ、マキノノゾミ、ラサール石井	380
	生きる (KOBELCO 大ホール)	2. 11. 13 ～14 (3公演)	演 出：宮本亜門 出 演：市村正親、鹿賀丈史 ほか	2,699
	ベートーヴェン「不滅の恋人」への手紙（パソナ）（再掲）	2. 11. 28 ～29 (3公演)	演 出：栗山民也 出 演：一路真輝、田代万里生 ほか	1,084
	加藤健一事務所「プレッシャー」	2. 12. 6 (1公演)	演 出：鶴山仁 出 演：加藤健一 ほか	390
	白石加代子百物語（メジャーリーグ）	2. 12. 9 (1公演)	演 出：鴨下信一 出 演：白石加代子	576
	フェードル [関西テレビ共催]	3. 2. 11 ～14 (5公演)	演 出：栗山民也 出 演：大竹しのぶ、林 遣都 ほか	3,491
	二兎社公演 44 ザ・空気 ver. 3 そして彼は去った・・・	3. 2. 25 (1公演)	作・演出：永井 愛 出 演：佐藤B作、和田正人、韓 英恵、金子大地、神野三鈴	401
	オスロ（パソナ）[関西テレビ共催]	3. 3. 3 ～7 (7公演)	演 出：上村聡史 出 演：坂本昌行、安蘭けい ほか	3,350
	子午線の祀り	3. 3. 13 ～14 (3公演)	演 出：野村萬斎 出 演：野村萬斎、成河、河原崎國太郎、若村麻由美 ほか	1,425
	たぬきと狸とタヌキ	3. 3. 17 (1公演)	作・演出：田村孝裕 出 演：榊原郁恵、岡本 麗、小林美江 ほか (6/20の振替公演)	368
古典芸能	ミュージカル BARNUM	3. 3. 26 ～28 (4公演)	演 出：荻田浩一 出 演：加藤和樹、朝夏まなと、矢田悠祐、中尾ミエ ほか	2,107
	万作萬斎狂言	2. 11. 11 ～12 (2公演)	出 演：野村万作、野村萬斎	668
	淡路人形浄瑠璃特別公演	2. 12. 5 (1公演)	出 演：淡路人形座	327

落 語	桂吉弥の会 (再掲:こころの 広場プロジェクト)	2. 8. 1 (1公演)	出 演: 桂 吉弥	283
	好敵手の会 (再掲:こころの 広場プロジェクト)	2. 8. 22 (1公演)	出 演: 笑福亭鉄瓶、桂佐ん吉、笑福亭べ瓶、 桂吉の丞	236
	春風亭小朝	2. 9. 20 (1公演)	出 演: 春風亭小朝	220
	桂 文 珍 兵 庫大独演会 ～ネタのオ ートクチュ ール～	2. 10. 9 ～10 (2公演)	出 演: 桂 文珍	714
	特選落語競 演会(昼の部)	2. 11. 15 (1公演)	出 演: 桂ざこば、桂南光 ほか	370
	特選落語競 演会(夜の部)	2. 11. 15 (1公演)		334
	笑福亭鶴瓶	3. 1. 30 ～31 (2公演)	出 演: 笑福亭鶴瓶	1, 333
	春風亭昇太	3. 2. 23 (1公演)	出 演: 春風亭昇太	398
	月亭方正	3. 3. 18 (1公演)	出 演: 月亭方正	456
合 計 27事業 57公演				27, 965

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
【演劇・ミュージカル等（良質な作品制作実績のある公共劇場との連携）】	
未練の怪物と幽霊 ※令和3年度に延期 *KAAT 神奈川芸術劇場との連携	2. 7. 4 ～5 (3公演)
【演劇・ミュージカル等】	
タクフェス [関西テレビ共催]	2. 5. 20 ～24 (7公演)
加藤健一事務所 「サンシャイン・ボーイズ」	2. 5. 31 (1公演)
劇団民藝 「グレイクリスマス」 [劇団民藝/キョードー大阪共催]	2. 6. 27 (1公演)
【演劇・ミュージカル（幅広いファンにアピールする公演・エンターテインメント性の高い公演の招聘）】	
欲望のみ [関西テレビ/キューブ共催]	2. 7. 16 ～19 (6公演)
リトル・ゾンビガール *日牛劇場との連携	2. 9. 12 (2公演)

【古典芸能】	
春爛漫 茂山狂言会 みんなで楽しく狂言会	2. 4. 12 (1公演)
春爛漫 茂山狂言会 お豆腐狂言会	2. 4. 12 (1公演)
【落語】	
立川談春 [キョードー大阪共催]	2. 5. 3 ～4 (2公演)
笑福亭松喬	2. 6. 28 (1公演)
柳家喬太郎	2. 7. 25 (2公演)
【舞踏】	
コンドルズ	2. 10. 11 (1公演)
合 計 1 2 事業 2 8 公演	

⑤ 国内外室内楽公演等（神戸女学院小ホール）

世界一流の室内楽団をはじめ、地元出身で幅広い活躍を続ける音楽家や、世界の音楽・ダンスを集めた「世界音楽図鑑」、「古楽の愉しみ」によるアーリーミュージック、ジャズなどシリーズ企画により、芸術文化センターならではの良質で親しみやすい幅広いジャンルの公演で音楽系ファンの裾野を広げた。

※（再掲）はベートーヴェン生誕 250 年特別企画

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
音楽一般	鈴木雅明&鈴木優人 チェンバロ・デュオ・リサイタル	2. 10. 10 (1公演)	チェンバロ：鈴木雅明、鈴木優人	199
	前橋汀子カルテット（再掲）	2. 11. 25 (1公演)	出 演：前橋汀子カルテット	305
	テレマン室内オーケストラ	3. 3. 4 (1公演)	出 演：テレマン室内オーケストラ	293
	児玉桃ピアノリサイタル	3. 3. 5 (1公演)	ピアノ：児玉桃	361

「シリーズ企画」 占衆の愉しみ	ジュスタン・テイラー	3. 1. 8 (1公演)	出 演: ジュスタン・テイラー(チェンバロ) (6/7の代替公演)	313
「シリーズ企画」 クリスマス・ジャズ・フェスティバル	渡辺貞夫 (KOBELCO 大ホール)	2. 12. 4 (1公演)	出 演: 渡辺貞夫 (サキソフォン) ほか	921
	ケイコ・リー	2. 12. 12 (1公演)	出 演: ケイコ・リー (ヴォーカル)	345
	小曽根真 (KOBELCO 大ホール)	2. 12. 17 (1公演)	出 演: 小曽根真 (ピアノ) 小野リサ (ゲスト/ヴォーカル・ギター)	1, 897
	山下洋輔スペシャル・ビッグバンド (KOBELCO 大ホール)	2. 12. 19 (1公演)	出 演: 山下洋輔 (ピアノ) ほか	979
	アロージャズオーケストラ 寺井尚子 (KOBELCO 大ホール)	2. 12. 24 (1公演)	出 演: アロージャズオーケストラ 寺井尚子 (ヴァイオリン)	829
合 計 10事業 10公演				6, 442

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
【音楽一般】	
青木尚佳 無伴奏 (ヴァイオリン)	2. 4. 4 (1公演)
クレメンス・ハーゲン&河村尚子 (再掲)	2. 4. 11 ～12 (2公演)
戸田弥生&エル＝バシヤ	2. 4. 18 (1公演)
ベートーヴェン歌曲集 リートを聴く (再掲) ベンヤミン・アップル (バリトン) ～君を愛す	2. 9. 13 (1公演)
フォーレ四重奏団 ※令和3年度に延期	2. 10. 4 (1公演)
アントワン・タメスティ&鈴木優人	2. 10. 10 (1公演)
ジュリアード弦楽四重奏団 (再掲)	3. 1. 23 (1公演)
マリオ・ブルネロ (チェロ)	2. 10. 31 (1公演)

ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ・シュトゥットガルト（再掲）	2. 11. 23 (1公演)
宮川彬良&アンサンブル・ベガ ニューイヤー・コンサート	3. 1. 6 (1公演)
ジョヴァンニ・ソッリマ	3. 2. 18 (1公演)
アンドレアス・シュタイアー・トリオ	3. 2. 23 (1公演)
【[シリーズ企画] 世界音楽図鑑】	
カニサレス ※令和3年度に延期	2. 9. 9 (1公演)
アヴィ・アヴィタル MEETS オメル・アヴィタル (阪急中ホール)	2. 10. 13 (1公演)
ケルティック・クリスマス (KOBELCO 大ホール)	2. 11. 29 (1公演)
東西の祈りの音楽～1000年の時を遡る ※令和3年度に延期 (KOBELCO 大ホール)	3. 3. 2 (1公演)
【[シリーズ企画] 古楽の愉しみ】	
マリアン・コンソート ※令和3年度に延期	2. 5. 17 (1公演)
フォータイム・バロック	2. 10. 24 (1公演)
平崎真弓&ロレンツォ・ギエルミ	2. 11. 14 (1公演)
【[シリーズ企画] クリスマス・ジャズ・フェスティバル】	
アトリエ澤野ススペシャル	2. 12. 11 (1公演)
北村英治カルテット	2. 12. 16 (1公演)
【[新企画] Catch シリーズ】	
森本隼太（ピアノ） ※令和3年度に延期 (KOBELCO 大ホール)	2. 6. 6 (1公演)
合 計	22事業 23公演

(4) 舞台芸術の普及・県民の創造活動支援

① プロムナードコンサート・ワンコイン・コンサート等

(ア) プロムナードコンサート（KOBELCO 大ホール）

人気・実力を兼ね備えた国内演奏家や国外アーティストを招き、親しみやすいプログラムによる低額入場料（2,000円程度）公演を開催し、広範囲な集客（裾野の拡大）を図っている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全公演が中止又は延期となった。

※（再掲）はベートーヴェン生誕250年特別企画

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止・延期

演 目	公演予定年月日
新イタリア合奏団&村治佳織	2. 9. 27 (1公演)

アレクサンダー・コ布林 ※令和3年度に延期 (再掲)	2. 10. 3 (1公演)
カール＝ハインツ・シュッツ&吉野直子	3. 2. 14 (1公演)
シプリアン・カツァリス ピアノ・リサイタル (再掲)	3. 3. 12 (1公演)
アリーナ・イブラギモヴァ 無伴奏ヴァイオリン	3. 3. 28 (1公演)
合 計	5 事業 5 公演

(イ) ワンコイン・コンサート (入場料 500 円) (KOBELCO 大ホール)

県内外音楽コンクール受賞者など兵庫・関西ゆかりの新進気鋭の音楽家による 60 分のコンサートを平日の昼間に開催し、広範囲な集客(裾野の拡大)を図った。

出 演 者	公演年月日	出演者等	入場者(人)
大谷雄一(チェロ)	2. 9. 3 (2公演)	チェロ： 大阪交響楽団首席チェロ奏者 (2013 年～)。国立音楽大学卒業。第 4 回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門・優秀賞、文化奨励賞、理事長賞。第 5 回日本アンサンブルコンクール・グランプリなどを受賞。 2016 年から同じく大阪交響楽団首席コントラバス奏者の大槻健太郎と「Duo Progre」を結成。	660
山口莉奈(ギター)	2. 10. 13 (1公演)	ギター： 2013 年大阪音楽大学クラシックギター専攻特待生入学。2017 年同大学卒業、並びに優秀賞受賞。第 38 回日本ギターコンクール上級部門第 1 位。第 34 回スペインギター音楽コンクール第 2 位。第 48 回クラシカルギターコンクール第 3 位。第 42 回ギター音楽大賞、大賞部門第 1 位、大阪府知事賞受賞。その他多数のコンクールで上位受賞。	702
小松加奈(マリンバ)	2. 11. 17 (1公演)	マリンバ： 神戸山手女子高等学校音楽科、大阪音楽大学卒業。第 27 回日本打楽器協会新人演奏会に出演。平成 26 年度 兵庫県若人の賞、平成 29 年度 ひょうごアーティストサロン賞、平成 30 年度 坂井時忠音楽賞、令和元年度神戸市文化奨励賞ほか多数受賞。 マリンバを宮本慶子、栗山未知の各氏に師事。神戸マリンバソサエティ所属、マリンバ合奏団「アンサンブルローザ」メンバー。神戸芸術文化会議、神戸音楽家協会、関西打楽器協会各会員。	1, 453

梨谷桃子((ソプラノ) 谷口耕平(テノール) 關口康祐(ピアノ/ コレペティトア)	2. 12. 3 (1公演)	ソ プ ラ ノ : ●梨谷桃子(ソプラノ):2014年大阪音楽大学卒業。関西歌劇団正団員。 第6回東京国際コンクール 新進声楽家部門 第2位。第28回宝塚ベガ音楽コンクール 声楽部門第4位ほか受賞多数。 平成28年度 公益財団法人さわかみオペラ芸術振興財団の助成を得て、イタリアのトリエステ・ヴェルディ歌劇場にて研鑽を積む。第11回マグダ・オリヴェーロ国際コンクール入賞。 テ ノ ー ル : ●谷口耕平(テノール):大阪音楽大学卒業。同大学大学院音楽研究科声楽専攻オペラ研究室修了。びわ湖ホール声楽アンサンブル所属、上方オペラ工房、OperAmici 各メンバー。 第18回KOBE国際コンクール優秀賞及び教育委員会賞ほか受賞多数。第53回大阪国際フェスティバル「ランスへの旅」リーベンスコフ伯爵役のカヴァーキャストをつとめ、ロッシーニの権威であるアルベルト・ゼツダ氏のもとで研鑽を積んだ。現在、声楽を川下登氏に師事。 ピ ア ノ : ●關口康祐(ピアノ):西宮市在住。神戸大学発達科学部人間行動・表現学科卒業、大阪音楽大学音楽専攻科修了。川上孝子氏に師事。第9回大阪国際音楽コンクール2台ピアノ部門最高位、ほか多数受賞。現在、大阪音楽大学非常勤講師、同大学付属音楽院登録講師。堺シティオペラ、関西二期会、関西歌劇団、兵庫県立芸術文化センター等において、オペラを中心にピアニストを務める。	1, 269
吉本梨乃(ヴァイオリン)	3. 2. 11 (1公演)	ヴァイオリン: 神戸生まれ、ウィーン在住。現在、東京音楽大学付属高校に特別特待奨学生として在籍する傍ら、ウィーン国立音楽大学ギフテッドコースに在籍し、ミハエル・フリッシェンシュラーガー氏そしてベルギーのエリザベート王妃音楽院で関西フィル音楽監督でもあるオーギュスタン・デュメイ氏に師事。2018年神戸灘ライオンズクラブ音楽賞受賞。同年松方ホールにてリサイタル。2020年度ローム音楽財団奨学生。	1, 645

田中玲奈(フルート)	3. 3. 12 (1公演)	フルート： 大阪フィルハーモニー交響楽団フルート奏者。2013年～2015年PACオーケストラ在籍。 ドイツ生まれ。京都市立京都堀川音楽高校、東京藝術大学を経て、同大学院修士課程を修了。ベルリン国立音楽大学大学院を経て同大学国家演奏家資格クラス(Konzertexamen)を獲得、満場一致の最優秀にて修了。全日本学生音楽コンクール第1位。びわ湖国際フルートコンクール一般部門、東京音楽コンクール木管部門、日本音楽コンクールフルート部門第1位など受賞多数。	1,367
合 計 6事業 7公演			7,096

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和3年度に延期

演 目	公演予定年月日
萬谷衣里 (ピアノ)	2. 4. 10 (2公演)
PACオーケストラ 佐々木賢二(チェロ)	2. 5. 20 (1公演)
葵トリオ(ピアノトリオ)	2. 6. 16 (2公演)
儀間太久実(口笛)	2. 8. 7 (1公演)
合 計 4事業 6公演	

<音楽事業アドバイザー会議>

センターの主催する音楽事業の中で、兵庫・関西ゆかりの若手アーティスト・人材を登用する普及事業(ワンコイン・コンサート等)の出演者候補について発掘・審議するため、音楽事業アドバイザー会議を開催

(アドバイザー)

中村孝義(大阪音楽大学理事長)、響敏也(音楽評論家)、藤本賢市(神戸新聞社)、青木さやか(読売新聞大阪支社編集局文化部記者)

(ウ) ワンコイン・コンサート NO.1アーティスト2018 アンコール・リサイタル

2018年の出演アーティストの中からアンケートをもとに選出(神戸女学院小ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
岩見玲奈 マリンバ・リサイタル	2. 10. 21 (1公演)	岩見玲奈 (マリンバ) 大場章裕 (パーカッション) 森 浩二 (ピアノ)	198
合 計	1事業	1公演	198

(エ) ワンコイン・コンサート NO.1 アーティスト 2019 アンコール・リサイタル

2019 年の出演アーティストの中からアンケートをもとに選出（神戸女学院小ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
古瀬まきを ソプラノ・リサイタル	3. 3. 2 (1公演)	古瀬まきを（ソプラノ） 藤江圭子（ピアノ）	207
合 計 1 事業 1 公演			207

(オ) 福袋コンサート

次年度ワンコイン・コンサート出演者と新年を祝う芸文センター新企画のコンサート
(KOBELCO 大ホール)

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
2021 年度ワンコインコンサート 出演者お披露目 新春・顔見世コンサート	3. 1. 3 (1公演)	『クレモナ』モダンタンゴ・ラボ ラトリ、白石優子、崔 勝貴、前田 妃奈 特別ゲスト：木村優一（太鼓演奏 家）	1, 336
合 計 1 事業 1 公演			1, 336

(カ) ワンコイン・プレ・レクチャー(阪急 中ホール)

芸術監督プロデュースオペラをより楽しんでもらうため、オペラ歌手によるハイライ
トコンサートを開催。また、専門家、演奏家等のレクチャー・トークを実施し、広範囲な集
客（裾野の拡大）をめざしている。

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、プロデュースオペラが令和
4 年度に公演延期となったため、当該事業は中止とした。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止

演 目	公演予定年月日
オペラ「ラ・ボエーム」ハイライトコンサート ～ええとこどり！（再掲）	
芸術文化センター	2. 4. 15 ～16 (2公演)
丹波篠山市立田園交響ホール	2. 4. 18
洲本市文化体育館 文化ホール	4. 19
明石市民会館大ホール	4. 29
三田市総合文化センター郷の音ホール小ホール	5. 16
西脇市民会館	5. 17 (5公演)
オペラ「ラ・ボエーム」ワンコイン・プレ・レクチャー（再掲）	2. 5. 2 7 (2 公演)
合 計 2 事業 4 公演 5 公演（県内公演）	

(キ) ドリーム・コンチェルト (KOBELCO 大ホール)

ワンコイン・コンサート出演者と芸術文化センター管弦楽団によるスペシャル・
コンサートを開催

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公演延期した。

演 目	公演予定年月日
ドリーム・コンチェルト ※令和3年度に延期 *冠協賛：西宮ロータリークラブ H24年から9回目 協賛継続	2. 5. 16 (1公演)
合 計	1 事業 1 公演

(ク) 舞台芸術団体フェスティバル (共催) (県域団体)

演 目		公演年月日	主催団体	入場者(人)
KOBELCO大ホール	夏休み!!クラシック ファミリーコンサート “ブラビッシモ!!” ワンコインコンサート	2. 8. 23 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会／尼 崎市文化団体協議会	478
	【創立40周年・公財認定10周年記念】 第39回アルカディア 定期演奏会 ―魅惑の タンゴ&モーツァルト―	2. 9. 26 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会	244
阪急中ホール	ーふれあいの祭典ー 「ひょうご邦楽の祭典」	2. 9. 13 (1公演)	兵庫県箏絃連盟	142
	劇団道化座創作劇 「日向家の五人姉妹」	2. 9. 18 (1公演)	兵庫県劇団協議会／劇団道化座	288
	カーリーの青春	2. 9. 19 (1公演)	兵庫県劇団協議会／劇団自由人会	無観客 収録
	母の肖像	2. 11. 13 (1公演)	劇団道化座	167
	(※14日は貸館扱い)	2. 11. 14 (1公演)		230
神戸女学院小ホール	阪神ジュニア音楽コン クール予選会	2. 8. 18 (1公演)	阪神南文化振興団体連絡協議会／尼 崎市文化団体協議会	209
	楽の花束	2. 8. 30 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議／ムジカス オーニ	76
	We Love Marimba コン サート	2. 9. 26 (2公演)	兵庫県音楽活動推進会議／神戸マリ ンバスエティ	343
	ーふれあいの祭典ー アンサンブル・フェス ティバル	2. 9. 27 (1公演)	兵庫県音楽活動推進会議	167
合 計		10事業	12公演	2,344

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止

演 目	公演予定年月日
【KOBELCO大ホール】	
2020 年度兵庫県合唱コンクール 中学校・高等学校の部	2. 8. 22 (1公演)
ーふれあいの祭典ー ブラスフェスティバル	2. 9. 13 (1公演)
【神戸女学院小ホール】	
クラリネットを楽しむ会 Vol. 4 ～”クラリネッティッシモ”結成 30 周年記念コンサート～	2. 9. 18 (1公演)
合 計	3 事業 3 公演

② ピッコロ劇団公演（共催）（阪急中ホール）

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
ファミリー劇場 「とつととといてよ！シャ ーロック・ホームズ」	2. 12. 19 ～20 (3公演)	作 : 早船 聡(サスペンデッス) 演 出: 平井久美子 (ピッコロ劇団) 音 楽: 園田容子 出 演: ピッコロ劇団員 ほか	735
第 6 9 回公演／ピッコロシ アタープロデュース 「波の上のキネマ」	3. 2. 19 ～2. 21 (5公演)	作 : 増山 実「波の上のキネマ」(集英 社刊) 脚本・演出: 岩崎正裕 (劇団太陽族) 出 演: ピッコロ劇団員 ほか	1, 102
合 計	2 事業	8 公演	1, 837

【芸術文化センター事業 評価】

【新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応】

- 緊急事態宣言が発出されたため、4月8日から6月1日まで休館となる中、感染防止策をとりながら再びお客様をお迎えするための方策を模索し、関係諸団体のガイドラインを参考に当センター独自のガイドラインを定める等、公演再開に向けての取り組みを進めた。公演の再開を心待ちにされているお客様に少しでも舞台芸術をお届けするため7月4日から8月22日まで「心の広場プロジェクト」を実施した。（入場料はすべて医療従事者への寄付とするチャリティ公演）
- また、7月23・24日には、中止となった佐渡裕芸術監督プロデュースオペラに代え「希望を感じさせる公演を」という監督の思いから感染症対策アドバイザーの助言、スモークテスト等を踏まえて、緊急事態宣言解除後、全国で初の合唱独唱歌手オーケストラが出演する公演を実施した。この取り組みについて積極的にメディア等へ発信し各新聞社、NHK総合等でも取り上げられ公演関係者、舞台芸術ファンに共有された。
- このプロジェクトの感染拡大防止策を徹底した舞台芸術上演により、全面的な公演の再開に向けての第一歩として、心の拠り所としての舞台芸術を安心して愉しんでいただく環境をお客様に提供したばかりでなく、地域の舞台芸術活動をリードする実践的なモデルとして各方面に勇気をもたらした。

(1) 主催事業の成果

- 「芸術監督プロデュースオペラ・コンサートによる創造・発信」、「芸文センター独自プロデュースの演劇公演・幅広いニーズに応える公演」、「舞台芸術の普及・県民の創造活動支援」の3つの柱で、14年間継続して質・量ともに開館記念期間（1117～19の3年間）の水準を維持している。
- 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響を受け緊急事態宣言中の公演、海外招聘公演等を中止したが、積極的なコロナ対策への取り組み（ガイドライン策定）により、観客・出演者・スタッフの安全を確保して、80事業130公演を実施。コロナ禍においてもできる限りの事業を展開した。（券売率は80%を達成）
- 阪神・淡路大震災からの心の復興のシンボルとして開館して以来、佐渡裕芸術監督とともに、多くの方々の“心の広場”となることをめざして活動してきた当センターは、従来と異なる配慮の上での公演開催が求められる状況にあっても、舞台芸術を通して、人々の心のつながりを築く場であり続けるため、コロナ禍においても、多彩な事業を展開し舞台芸術を楽しみにしているお客様の期待に応えた。
- ネーミングライツの協賛や地元企業（アサヒグループホールディングス株式会社等）の協賛により、世界一流のアーティストの公演がホールのステイタスを高めており、間接的に貸館事業の稼働率の向上にも貢献している。
- 従来、東京のみで成立していた上質な、演劇、ミュージカル、バレエなどを誘致し、開館時とは異なる新たな集客実現に寄与している。

【事業部主催の事業・公演数の遷移】

	H30	R元	R2
KOBELCO 大ホール	49 事業 69 公演	43 事業 58 公演	21 事業 26 公演
阪急 中ホール	85 事業 184 公演	65 事業 157 公演	43 事業 87 公演
神戸女学院小ホール	32 事業 31 公演	25 事業 27 公演	16 事業 17 公演
合 計	166 事業 284 公演	133 事業 242 公演	80 事業 130 公演

(2) 多彩な主催公演

- 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で初めてプロデュースオペラ「ラ・ボエーム」8公演を中止し、R4年度へ延期することとした。関連イベントとして定番化していた県内5会場（丹波篠山市、洲本市、明石市、三田市、西脇市）での「ハイライトコンサート」も同様に延期した。
- 新型コロナウイルスの影響で海外からの招聘型のコンサートがほとんど実施できなかったが、国内アーティストの積極的な登用や2週間待機制度をクリアしたアーティストによる公演を弾力的に企画して実施し、また一部の公演ではインターネット配信にも取り組んで、国内外への発信と舞台芸術専門劇場としての存在感をアピールした。
 - 全国的に声楽を伴う公演の再開が遅れていた中で、長期的な制作作業・公演準備が必要なクリスマス・オペラ「アマルと夜の訪問者たち」や芸術監督プロデュース「ジルヴェスター・コンサート」を、それまでに積み上げた実践的な感染対策を最大限に活用しながら高い芸術水準で実現し、長期化するコロナ禍での開催が予想される翌年度のプロデュースオペラや、本格的な声楽入りオーケストラ公演の上演に向けて着実な成果を上げた。

○芸術文化センター及び制作元の感染対策の徹底により公演を継続実施することで、お客様に貴重な鑑賞の機会を提供するとともに、創作に関わる人材・団体の支援に資することができた。

(3) 特色あるシリーズ企画・舞台芸術の普及

○ 芸術文化センターならではの特色あるシリーズ企画（「世界音楽図鑑」(ワールドミュージック)、「古楽の愉しみ」(アーリーミュージック)等)は海外招聘が不可能となり1公演の実施となった。プロムナード・コンサート、ワンコイン・コンサートなどは、新型コロナウイルスの影響を受け中止となった公演もあるものの、低料金の公演を通じて舞台芸術の普及(ファンの拡大)促進・定着に貢献した。新型コロナの影響で閉じこもり気味になるなか、万全の対策により県民のみなさんに低料金で楽しんでもらえ、生の舞台芸術の感動を共有することができた。

(4) 県民の創造活動支援

○ 阪神間の文化に造詣の深い河内特別参与の指導のもと、阪神間に縁の深いテーマや演目の伝統芸能公演を関西出身の演者により継続実施。兵庫県の新たな魅力を発信した。

「ひょうご能 土蜘蛛」では、演者が講師をつとめる宝塚北高等学校演劇科の生徒などこれからの演劇を担う青少年にも地域の魅力を伝えるとともに、伝統芸能に触れる機会を提供した。

舞台芸術団体フェスティバルでは、舞台上の新型コロナウイルス対策を各団体と共有して県民の創造活動の檜舞台を提供し、コロナ禍でも安全な上演を行うための実行力を育て、地域文化の発信、文化力向上を支援した。

2 兵庫芸術文化センター管弦楽団事業

兵庫県立芸術文化センター専属のプロオーケストラとして、毎年世界各地でオーディションを実施し、優秀な若手演奏家を中心に構成する兵庫ならではのユニークな『フレッシュでインターナショナル』なオーケストラ。また、兵庫から世界に人材を育て発信する『オーケストラアカデミー』の要素も有する「兵庫芸術文化センター管弦楽団」では、①定期演奏会の開催、プロデュースオペラ公演への出演をはじめ、②室内楽演奏会や③県内各地でのアウトリーチ活動など、「パブリックシアター」の顔にふさわしい多彩な活動を展開していく。(県内41市町一巡達成 H26.4月)

- ・芸術監督：佐渡裕
- ・レジデント・コンダクター：岩村力
- ・コンサートマスター：四方恭子、豊嶋泰嗣、田野倉 雅秋
- ・ミュージック・アドヴァイザー：水島愛子
- ・コアメンバー：14パート48人(10型2管編成、35歳以下、3年契約、全国・世界各地でのオーディションで選抜)

(R1.9.1現在：8カ国 14パート43人 平均年齢27.1歳)

※新メンバー契約期間：R1.9～R4.8)

・2020～2021 シーズン世界オーディション

(募集人員)ヴァイオリン等 8パート19人 (募集期間)2019年9月～2019年12月

(実技審査)2月 アメリカ、ヨーロッパ、西宮、東京 (総合審査)3月 ウィーン

※楽団員(コアメンバー)の在籍1年間延伸及び新入団の1年延期

コロナ禍の現状では、日本への入国が制限されており、外国籍のメンバーが来日できないことに加え、新入団メンバーを含め在籍メンバーも十分な演奏活動をしてもらえないことが予想されたため、新入団を1年先送り(延期)するとともに、現楽団員の契約期間を1年間延長することとした。(入団予定メンバー：Vn8人、Va3人、Cb1人、Fg2人、Hr1人、Tb1人、在籍メンバー：3年目9人、2年目10人、1年目18人)

なお、入団予定メンバーのうち、日本人9人については、当楽団の公演にエキストラ・プレイヤーとして参加できるよう配慮した。

① 演奏会活動 12事業15公演(センター事業：3事業4公演(再掲)を除く)

フレッシュでインターナショナルなオーケストラの魅力ある演奏会を実施

(ア) 定期演奏会(KOBELCO大ホール)

佐渡裕芸術監督をはじめ、世界一流の客演指揮者やソリストを招聘し、古典から現代曲までの魅力あるレパートリーを、大小さまざまな編成で演奏し、質の高い芸術性を追求している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期公演は全て公演中止。なお、第126回～134回までの定期公演については、特別演奏会を代替実施することとした。

※舞台芸術創造活動活性化事業助成(令和2年度公演)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止

演 目	公演予定年月日
〔2019-2020 シーズン〕 第123回 ファリャ：バレエ組曲「三角帽子」	2. 4. 17 ～19 (3公演)
第124回 R. シュトラウス：英雄の生涯	2. 5. 29 ～31 (3公演)
第125回 ドヴォルザーク：ヴァイオリン協奏曲	2. 6. 19 ～21 (3公演)
〔2020-2021 シーズン〕 第126回 R. シュトラウス：アルプス交響曲	2. 9. 18 ～20 (3公演)

第127回 ハチャトゥリアン：ヴァイオリン協奏曲	2. 10. 16 ～18 (3公演)
第128回 ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲	2. 11. 20 ～22 (3公演)
第129回 ベートーヴェン：交響曲第9番	2. 12. 11 ～13 (3公演)
第130回 ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番	3. 1. 15 ～17 (3公演)
第131回 ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲第1番	3. 2. 19 ～21 (3公演)
第132回 サン＝サーンス：チェロ協奏曲第1番	3. 3. 19 ～21 (3公演)
第133回 ストラヴィンスキー：春の祭典	3. 4. 9 ～11 (3公演)
第134回 ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」原典版	3. 6. 18 ～20 (3公演)
合 計 10事業 30公演（令和2年度）	

*2019-2020 シーズン定期会員数 4,303（金曜 1,373、土曜 1,522、日曜 1,408）

（イ）特別演奏会（KOBELCO 大ホール）

ユベール・スダーン・モーツァルトシリーズ企画や、子どものためのオーケストラ・コンサートなど親しみやすい公演により幅広い観客ニーズに応え、クラシックファン層を拡大。

演 目	公演年月日	出演者等	入場者(人)
PAC 特別演奏会 ベートーヴェン生誕250年 佐渡 裕 音楽の贈りもの PAC with ベートーヴェン！ 第1回	2. 9. 12 ～13 (2公演)	指 揮：佐渡 裕	1,941
PAC 特別演奏会 佐渡 裕 アルプス交響曲	2. 9. 19 ～20 (2公演)	指 揮：佐渡 裕 (第126回定期演奏会代替公演)	1,840
PAC 特別演奏会 ザ・チャイコフスキー	2. 10. 17 (1公演)	指 揮：大井剛史 ヴァイオリン：木嶋真優 (第127回定期演奏会代替公演)	962
PAC 特別演奏会 PAC オータムシンフォニー	2. 11. 21 (1公演)	指 揮：ユベール・スダーン (第128回定期演奏会代替公演)	1,573

開館 15 周年記念演奏会	2. 12. 10 (1公演)	指 揮：佐渡 裕 ソプラノ：並河寿美 ヴァイオリン：清水華澄 テノール：行天祥晃 バリトン：甲斐栄次郎 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団	1,757
芸術文化センター管弦楽 団 特別演奏会 佐渡 裕 音楽の贈りもの PAC with ベートーヴェ ン！第2回「佐渡 裕 第 九」	2. 12. 12 ～13 (2公演)	指 揮：佐渡 裕 ソプラノ：並河寿美 ヴァイオリン：清水華澄 テノール：行天祥晃 バリトン：甲斐栄次郎 合 唱：ひょうごプロデュースオペラ合唱団 (第 129 回定期演奏会代替公演)	3,659
リサイタル・シリーズ (神戸女学院小ホール)	3. 1. 9 (1公演)	出 演：PAC コアメンバー	392
PAC 特別演奏会 下野竜 也「展覧会の絵」	3. 1. 16 (1公演)	指 揮：下野竜也 ピアノ：北村朋幹 (第 130 回定期演奏会代替公演)	1,660
PAC 特別演奏会 ザ・ブラームス	3. 2. 20 (1公演)	指 揮：カーチュン・ウォン ヴァイオリン：神尾真由子 (第 131 回定期演奏会代替公演)	1,006
PAC 特別演奏会 ドヴォルザーク & 幻想交 響曲	3. 3. 20 (1公演)	指 揮：カーチュン・ウォン チェロ：佐藤晴真 (第 132 回定期演奏会代替公演)	1,166
PAC 春休みワクワクオ ーケストラ・コンサート	3. 3. 27 (1公演)	指 揮：岩村 力 ヴァイオリン：吉田絵奈	668
合 計 11 事業 14 公演			16,624

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公演中止

演 目	公演予定年月日
第 36 回名曲コンサート	2. 4. 29 (1公演)
モーニングチェンバー ※PAC メンバーの企画構成で取り組む朝の室内楽コンサート (神戸女学院小ホール)	2. 6. 5 (1公演)
	2. 7. 8 (1公演)
合 計	2 事業 3 公演

(ウ) 室内楽シリーズ（神戸女学院小ホール）

バロックから現代曲まで、さまざまなレパートリーを多様な編成で演奏し、室内楽の魅力を伝える。芸術文化センター管弦楽団コアメンバーと特別契約奏者との組み合わせ。幅広い編成で高度な公演を実現。

演 目		公演年月日	出演者等	入場者(人)
室内楽シリーズ	第 66 回 打楽器セクション	3. 3. 13 (1公演)	打楽器・マリンバ・パフォーマンズ:池上英樹	295
	合 計 1 事業 1 公演			295

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により公演中止となったもの

演 目		公演予定年月日
第 63 回 弦楽器セクション		2. 4. 25 (1公演)
第 64 回 木管楽器セクション		2. 5. 23 (1公演)
第 65 回 金管楽器セクション		2. 7. 4 (1公演)
合 計		3 事業 3 公演

(エ) センター事業への出演 3 事業 4 公演 (再掲)

佐渡芸術監督のプロデュースするオペラ・コンサート公演等で演奏

② 体験教育・普及活動

(ア) 青少年芸術体験事業「わくわくオーケストラ教室」の実施 3 1 公演 (KOBELCOO 大ホール)

兵庫県内の中学 1 年生 (約 5 万人全員) を対象に、本格的な交響楽団の演奏に親しむ機会を設けることにより、これからの社会を担う生徒の豊かな感性、創造力を育むとともに、音楽教育 (体験教育) の振興を図った。

【企 画】佐渡裕芸術監督 【指 揮】岩村力 ほか

【内 容】第 1 部 参加・体験コーナー：ホールの紹介、楽器紹介
第 2 部 鑑賞コーナー：楽曲の紹介、演奏会

【公演時間】約 1 時間 (70 分)

【時 期】令和 2 年 1 0 月 1 日 (木) ～令和 3 年 3 月 5 日 (金)

【実 績】8 4 校 1 0, 4 8 2 人 (引率教員等含む)

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、不参加や参加申し込み後の辞退が相次ぎ、例年を下回る実績となった。
- ・参加できない学校に対しては、教育委員会との調整により、実際の公演 (指揮: 岩村力^レグデント・コンダクター) を収録・編集した DVD を教育事務所を通じて貸し出し。

(イ) わくわく Online オーケストラ教室「妖精パックのオーケストラってなあ～に？」の実施 (新規)

佐渡裕芸術監督 (企画・台本) と兵庫芸術文化センター管弦楽団による動画配信企画 (YouTube にて配信中: 5 回シリーズ)。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い音楽教育が制限される中、少しでも子どもたちの一助となるために制作。ベルリオーズ作曲「幻想交響曲」を題材に、オーケストラや曲の秘密を、佐渡監督と妖精パック (パペット: 芸文センターに棲む妖精という設定) がわかりやすく解説。

(ウ) アウトリーチ活動

芸術文化センターからの遠隔地域や日頃音楽に触れる機会の少ない方々に音楽の魅力・感動を伝え、音楽の普及と楽団のPRを図るため、アウトリーチ活動を展開し、活動先については公募制度も導入・実施（医療機関、福祉施設、小中高等学校、企画と協働を実践する地域活動への参加等）

＊平成29年度～小学校・特別支援学校を対象としたアウトリーチ（公募により募集）を重点実施

【実績】1回

・関西学院吹奏楽クリニック（西宮市）＊佐渡芸術監督

11月29日

小学校・特別支援学校アウトリーチ

【実績】1校1回

・丹波篠山市立篠山養護学校

12月1日

(エ) スーパーキッズ・オーケストラ公演

オーディションによって選ばれた子どもたち（小学生から高校生まで）が佐渡芸術監督指揮のもとに演奏活動を行った。

(a) 合宿

例年、合宿での練習成果を本番（9/5～9/6 大ホール）につなげることを目的に実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して中止。

(b) 復興祈念被災地訪問活動

例年、開催している東日本大震災復興祈念演奏活動については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮して中止。

(c) 演奏会「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」(KOBELCO 大ホール)

【日程】9月5日（土）～6日（日） 2公演 入場者数1,932人

(d) その他の活動

・うめだ阪急 クリスマスイベント（2回）

【日程・場所】 11月29日 阪急うめだホール

・明石公演（畑崎財団助成）

【日程・場所】 12月20日 明石市民会館

・芦屋国際音楽祭

【日程・場所】 3月19日 カトリック芦屋教会

③ 多彩な演奏活動

楽団の魅力を広く県内・全国へPR（県内外からの依頼公演等）

(ア) 県内外ホールと連携した演奏活動

(a) 佐渡裕芸術監督指揮によるシーズンオープニング・フェスティバルと同演目によるコンサート

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

(b) 特別演奏会と同演目によるコンサート

会 場	日 程
赤穂市（赤穂市文化会館 ハーモニーホール）	2月21日（日）
姫路市（姫路市文化センター 大ホール）	3月21日（日）

(イ) 幅広いニーズに対応した演奏活動

- (a) 須磨学園（神戸国際会館） 11月 5日（木）
(b) 1万人の第九（大阪城ホール） 12月 6日（日）

(ウ) 県議会議場コンサート

（令和3年2月17日（水））

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止

④ コアメンバー演奏力の強化

(ア) PACシーズンオープニング・フェスティバル（ミュージックキャンプ）

若手育成という当楽団の性格から、そのミッションの一つであるアカデミー機能のより一層の強化、充実を目的に、シーズン・スケジュールの初め（9月）に国内外より著名な指導者陣（スペシャル・ゲスト・プレイヤー）を招き、オーケストラのレベルアップに不可欠なアンサンブル力の強化を図る。（ミュージックキャンプ）

また、芸術文化センターだけでなく、県内市町の文化施設においても開催（共同主催）することで、地域における音楽文化の発展に寄与する。（フェスティバル）

※いずれも新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

（開催地）平成25年洲本市⇒平成26年豊岡市⇒平成27年洲本市⇒平成28年篠山市⇒平成29年赤穂市⇒平成30年篠山市⇒令和元年明石市⇒令和2年洲本市（開催中止）

- (イ) 世界トップ級の奏者を、ソリスト、客演コンマス、パートトップとして招聘し（特別契約奏者）当楽団との共演、指導（マスタークラス）により、コアメンバーが世界一流の演奏技術などを体感できる機会を設けた。

小野明子（Vn）ほか

「オンラインマスタークラス」の実施（Zoomを活用した指導により、PACのアカデミー機能を担保）

コロナ禍の影響により海外から特別契約奏者を招聘できなくなったことから、オンラインマスタークラスを実施し、コアメンバーの技術力向上の場を確保した。

・契約期間

R2.9～R3.8：オイヴィン・ギムゼ（チェロ奏者、元トロンハイム交響楽団首席奏者）

クリストフ・ハルトマン（オーボエ奏者、ベルリンフィルハーモニー管弦楽団奏者）

R2.10～R3.8：ジェフリー・ラング（ホルン奏者、フィラデルフィア管弦楽団副首席奏者）

R3.3～R3.8：ハンスイェルク・プロファンター（トロンボーン奏者、バイエルン放送交響楽団首席奏者）

【兵庫芸術文化センター管弦楽団事業 評価】

【新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応】

- お客様を呼べない環境下で開催した「オーケストラ公演の再開に向けて～ディスカッションとデモ演奏」(6/19)では、演奏者同士の間隔を1.5～2m確保のうえ、パーテーションを設置するなどの感染防止策を施した状態で演奏するとともに、来場者(関係者のみ200名)対応として、消毒、サーモグラフィによる検温を実施、演奏会での課題等について検証結果について報告書を作成したうえ、HP上で公表し、オーケストラ公演の再開に向けての指針とすることができた。
- コロナ禍の中で、オンラインを活用し、「HPAC すみれの花咲く頃プロジェクト」、「Meet-HPAC リサیتالホール」、「わくわく Online オーケストラ教室」を制作・配信し、オンラインでお客様とセンター・楽団がつながるという新しい形でのプロジェクトを発信することができた。また、オンラインでの取り組みによる新たなファン層の拡大につなげる契機となった。

(1) 演奏会活動

- 国内では例のないシーズン年9回全3公演の定期演奏会をはじめ多彩なプログラムで本格的な演奏活動を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は、定期演奏会10事業30公演、特別演奏会2事業3公演、室内楽公演3事業3公演が中止となった。
- また、2020-21シーズン定期演奏会は、定期会員券(9回通し券)の発売を見送ることとした。
- 中止した定期演奏会のうち7事業21公演分は、コロナ対応(1又は2公演・短時間プログラム・国内アーティスト)の特別演奏会に変更して実施した。とりわけ、「特別演奏会 佐渡裕「アルプス交響曲」(9/19・20)」においては、大ホールの舞台を全面的に活用(音響反射板を後方に下げて舞台を拡張する等)した総勢約120名のオーケストラにより、コロナ禍においても安全に大編成プログラムを実現できることを実証し、コロナ禍における大編成での演奏会の実現に活路を見出せた。
- また、兵庫県立芸術文化センター開館15周年記念演奏会(12/11)では、上記の成果を踏まえ、万全の対策を施したうえ実施、開館15周年をお客様とともに、祝うことができた。

(2) 体験教育・普及活動

- 県内の公立中学校1年生全員を対象とした体験教育「わくわくオーケストラ教室」(40公演・385校・約4万7千人参加予定)を実施。コロナ禍の影響で、31公演・84校・約1万人の参加にとどまったものの、公演を安全・安心に実施でき、公演後のアンケートでは、「よかった」の評価が95.8%を占めた。
なお、不参加校には、公演の様相を録画したDVDを制作して貸し出し、音楽授業の一助とすることができた。(当初の貸し出し予定枚数50枚を上回る要望があり、15枚追加で制作)
- 県立劇場・楽団のミッションとして、佐渡芸術監督による音楽授業や楽団員によるアウトリーチ活動等を積極的に展開。平成29年度からは、小学校・特別支援学校等へのアウトリーチを継続実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により小学校・特別支援学校等へのアウトリーチ18校18回が令和3年度に延期とした。
そうした中、1校(特別支援学校)のみは、体育館でスモーク実験を行い、十分な換気能力が確保されていることを確認したうえで、実施にこぎつけ、コロナ禍の外出・イベント制限で芸術に触れる機会が減少している子どもたちに生の音楽を届けることができた。

(3) 多彩な演奏活動

- 県内ホールと連携して行ってきたシーズン・オープニング・フェスティバル(合宿予定地:洲本市)と同演目の県内巡回公演及び県議会議場コンサートについては、中止した。
- 「一万人の第九」については、合唱をオンラインでつなぐという形で実現、密を避けたスタイルでの「第九」を届けることができた。

(4) コアメンバー演奏力の強化(アカデミー機能の充実)

新しいスタッフによる組織の若返りを図るとともに、ベルリンフィルなどの一流のプレイヤーとのオンライン・レッスンを受けられる環境を整備するなど、アカデミー機能の充実を図ることができた。

- 新コンサートマスターとして田野倉雅秋氏就任(9月)
- 新インスペクターとして川岸三哲氏就任(6月)
- オンラインマスタークラスの実施(再掲・9月、11月、1月、3月)

(5) コアメンバー退団後の主な活動状況

- イ・ヘミ(ヴァイオリン):ヨンショーピング・シンフォニエッタ(スウェーデン)
- ム・リン(ヴァイオリン):アントワープ交響楽団(ベルギー) ※ともに試用期間中

＜ホール別の主催事業数・公演数＞

区 分	芸術文化センター事業		芸術文化センター管弦楽団事業		主催事業 計
	主催事業	舞台芸術団体 フェスティバル 等	演奏活動	青少年芸術体験事 業	
KOBELCO 大ホール	19 事業 24 公演	2 事業 2 公演	11 事業 15 公演	1 事業 31 公演	33 事業 72 公演
阪急 中ホール	37 事業 74 公演	6 事業 13 公演	—	—	43 事業 87 公演
神戸女学院 小ホール	12 事業 12 公演	4 事業 5 公演	2 事業 2 公演	—	18 事業 19 公演
小計	68 事業 110 公演	12 事業 20 公演	13 事業 17 公演	1 事業 31 公演	94 事業 178 公演
外部公演	14 公演	—	—	—	14 公演
楽団外部依頼 公演	—	—	3 事業 4 公演	—	3 事業 4 公演
計	68 事業 124 公演	12 事業 20 公演	16 事業 21 公演	1 事業 31 公演	97 事業 196 公演
	80 事業 144 公演		17 事業 52 公演		
【基準】	【36 事業 58 公演】		【48 公演】	【40 公演】	【146 公演】

〔注１〕 上記のほか普及事業開催：広報普及イベント（公開リハーサル、レクチャー・トーク、ワークショップ、バックステージツアー、企画展示、西北活性化協議会イベント等）、楽団アウトリーチ活動等

3 芸術文化センター広報・普及活動

(1) 広報活動

① 多面的な広報宣伝活動

(ア) 知事記者会見等による情報発信

年間ラインナップやプロデュースオペラの発表を知事記者会見で行ったほか、心の広場プロジェクトのイベント情報や月間公演スケジュール等を記者へ資料配布。

(イ) マスメディアの活用

販売促進のために新聞や雑誌等へ定期的に掲載している発売広告は、新型コロナウイルスの影響で公演開催が不透明な状況が続いたため差し控え、状況を見ながらスポット広告を行った。

テレビ等マスメディアからの佐渡芸術監督や芸文センターへの取材については積極的に受け、芸文センター事業のPRに役立てた。特に、「HPAC すみれの花咲く頃プロジェクト」や芸文センターの新型コロナウイルス感染症対策の取り組みは、多くのマスメディアに取り上げられた。

(ウ) 交通広告の活用

プロデュースオペラや楽団定期演奏会を集中的に広報するため、京阪神エリアを中心に、阪急電鉄の車両・駅に広告を展開した。

(エ) 放送局等との共催

放送局等との共催事業により出演者等のメディア露出が増え、効果的な宣伝ができた。

【主なテレビ・ラジオ放送】（見逃し配信やWEBでも放送）

放送日	放送局	番組名	形態	内容
2. 4. 21	フジテレビ	とくダネ(小倉ニュースのコーナー)	報道番組	すみれプロジェクト
2. 4. 29	毎日放送	おうちにいようよ ちちんぷいぷい&ミント	情報番組	すみれプロジェクト 佐渡監督出演
2. 5. 4	ABC ラジオ	おはようパーソナリティー 道上洋三です	情報番組	すみれプロジェクト 佐渡監督出演
2. 5. 18	NHK 総合	神戸放送局「Live Love ひょうご」	報道番組	すみれプロジェクト 佐渡監督出演
2. 5. 18	MBS ラジオ	ありがとう浜村淳です	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」茂木大輔出演
2. 5. 19	NHK R1	関西ラジオワイド	情報番組	すみれプロジェクト 佐渡監督出演
2. 6. 6	NHK 総合	大阪放送局「ウィークエンド関西」	情報番組	すみれプロジェクト 佐渡監督出演
2. 6. 21	フジテレビ	Live News it!	報道番組	6/19オーケストラ公演の開催に向けて 佐渡監督出演
2. 6. 21	FM COCORO	尾上さとし FRUIT'S O' SUNDAY	情報番組	6/19オーケストラ公演の開催に向けて
2. 6. 22	毎日放送	ちちんぷいぷい	情報番組	6/19オーケストラ公演の開催に向けて 佐渡監督出演
2. 6. 22	ABC ラジオ	ドッキリ！ハッキリ！三代澤康司です	情報番組	6/19オーケストラ公演の開催に向けて
2. 6. 24	毎日放送	ミント！(News ミント！コーナー)	情報番組	6/19オーケストラ公演の開催に向けて 佐渡監督・楽団員出演
2. 7. 3	ベイコム	地域番組	情報番組	心の広場プロジェクト
2. 7. 27	NIKK 総合	神戸放送局「Live Love ひょうご」	報道番組	心の広場プロジェクト「7/23 どんな時も 歌、歌、歌！」
2. 7. 28	NHK 総合	大阪放送局「ぐるっと関西おひるまえ」	情報番組	心の広場プロジェクト「7/23 どんな時も 歌、歌、歌！」
2. 8. 9	NHK FM	ブラボー！オーケストラ	音楽番組	H28/6 楽団定期、H30/6 楽団定期
2. 8. 26	NHK R1	関西ラジオワイド	情報番組	心の広場プロジェクト「7/23 どんな時も 歌、歌、歌！」
2. 8. 28	NHK 総合	おはよう日本	報道番組	心の広場プロジェクト「7/23 どんな時も 歌、歌、歌！」
2. 9. 7	関西テレビ	報道ランナー	情報番組	「のだめカンタービレの音楽会」 茂木大輔
2. 9. 21	毎日放送	「コロナには負けない！～One for all, All for one～ 佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ 2020」	特集番組	スーパーキッズ・オーケストラ、佐渡監督出演
2. 9. 24	NHK World	ニュースで複数回放送、ウェブ掲載	報道番組	心の広場プロジェクト「7/23 どんな時も 歌、歌、歌！」
2. 10. 06	NHK 総合	神戸放送局「Live Love ひょうご」	報道番組	楽団アルプス交響曲 佐渡監督出演
2. 11. 3	NHK総合	インタビュー ここから	特集番組	楽団アルプス交響曲 佐渡監督出演
2. 12. 19	毎日放送	1万人の第九つながろう、今	特集番組	佐渡監督出演
2. 12. 26	BSTBS	ヒポクラテスの誓い	特集番組	感染アドバイザー・浮村聡先生特集 センター取組紹介
2. 1. 19	NHK 総合	神戸放送局「Live Love ひょうご」	報道番組	佐渡監督出演(震災関連)
2. 1. 19	朝日放送	徹子の部屋	情報番組	佐渡監督、反田恭平出演
3. 3. 29	朝日放送	キャスト	情報番組	3/5/24ドリーム・コンチェルト「大田糸音」

② 自主媒体による展開

(ア) 情報誌「ひょうご舞台芸術」の発行

舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報を発信するため、情報誌を発行

【内容】 ・芸術文化センター事業を特集

・イベント情報（音楽・演劇・舞踊等の各種イベントガイド）

・舞台芸術をはじめ多彩な芸術文化の情報

【発行】 年2回／各 60,000 部

(イ) 会報誌の発行 毎月1回／40,000～55,000 部

新型コロナウイルスの影響で海外招聘公演等開催が見通せない状況が続いたため、発売日を集約した先行予約発売を止め、公演ごとに発売日を設定し、一般発売のみとした。

それにより、会報誌も先行予約会員 NEWS を休止し、代わりに、月間発売一覧を発行した。

(ウ) 公演スケジュールの発行 毎月1回／6,000 部

毎月、主催・貸館公演を一覧表にして、芸文センターの公演スケジュールを発行し、記者や県内施設等に配布して、芸文センター事業を広く周知した。

(エ) 芸文センターWeb サイトの運営 (<http://www.gcenter-hyogo.jp>)

施設、公演事業、楽団をPRするとともに、新型コロナウイルスに係る告知など、「ニュース&トピックス」をこまめに発信した。

【内容】施設概要・公演情報・入場券発売・楽団情報・ニュース&トピックス

※R2年度実績：アクセス件数 3,894,692 件、ニュース&トピックス発信数 333 件

(オ) 特設 Web サイトの開設

(a) 佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ特設サイト（オペラ毎に開設）

「メリー・ウィドウ」（R3.2.17 開設） <http://www.gcenter-hyogo.jp/merrywido/>

【内容】作品・キャスト等の紹介、最新のニュース 等

(b) 兵庫芸術文化センター管弦楽団特設サイト（H19.2 開設） <https://hpac-orc.jp/>

特設サイトのリニューアル（R3.4.1 公開）を行い、多言語やモバイルに対応するとともに、容易にコンテンツを更新できる仕組みを構築、情報発信力を強化した。

【内容】楽団・メンバーの募集・紹介、活動等紹介、最新のニュース 等

(カ) メールマガジンによる情報発信

発売情報、新型コロナウイルスに係る公演中止等の伝達に有効な手段として、月2・3回のペースで配信した。

※R2年度実績：33回発行、会員登録者数 28,466 人（R3.3.19 時点）

(キ) SNS の活用

(a) 公式 Twitter アカウント（H28.12 利用開始）

芸文センターWeb サイト掲載の発売情報やニュース&トピックスなどの情報を更新と同時に拡散する有効な手段として活用。特に、新型コロナウイルスに係る公演中止等の周知に効果を発揮した。

(b) プロデュースオペラ公式 Twitter アカウント（H29.2 利用開始）

オペラに特化した情報を配信

(c) プロデュースオペラ公式 Instagram アカウント（R1.12 利用開始）

画像や動画などを配信できる Instagram を活用し、オペラの練習風景などの動画を配信

(ク) 動画の配信

(a) 楽団公式 YouTube の活用（H25.11 利用開始）

楽団特設サイトで、定期演奏会のライブ映像やゲスト奏者の楽団紹介映像を全世界に発信し、楽団及び楽団員の活動を紹介するとともに、国内外の優秀な若手演奏家の楽団入団を促進

【配信コンテンツ】（現在も配信中）

- ・すみれの花咲く頃プロジェクト（4月21日～6月15日）
投稿者数 400 組 動画 33 パターン、視聴回数 23.2 万回
- ・オーケストラ公演の再開に向けて～ディスカッションとデモ演奏～（6月19日）
視聴回数 2 万回
- ・Meet-HPAC リサイタルホールから（PAC メンバーの演奏）Vol.1～Vol.24
視聴回数 6.2 万回
- ・わくわく Online オーケストラ教室「妖精パックのオーケストラってなあに？」3 回シリーズ

③ 芸術文化センター先行予約会員制度（無料会員）

- 【特典】 チケット先行予約発売（価格割引なし）、インターネット購入
会報誌（先行予約会員 NEWS）・公演チラシの送付
- 【会員数】 54,233 人（令和3年3月31日現在）

④ チケット販売体制

（ア）チケットオフィス

毎月の発売日にスタッフ 40 名、電話 35 台という全国の劇場では例のない充実した電話受付体制を敷くとともに、窓口案内／チケットカウンターに 5 つの窓口を設け、チケット窓口引き取りの混雑緩和に対応した。

電話予約のサービス品質向上のため、電話交換機に通話録音装置及び自動応答装置を導入し、通話録音による聞き間違い防止や予約混雑時でも問合せ専用窓口に繋がるようにした。

（イ）新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

チケットオフィスの 3 蜜を回避するため、3 階会議室に電話回線を増設して、電話受付を分散させた。また、窓口案内／チケットカウンターには、客との間に飛沫感染防止のためパーティションを設けた。

政府や県の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針や業界のガイドラインに基づいて実施するとともに、来場者把握のため、先行予約会員に限定して販売、購入者本人と同伴者の 2 名に制限した。

緊急事態宣言のイベント開催制限により、市松模様の配席、販売席を収容定員の 50% 以内、販売中の公演の売り止めなどに対応したが、販売に多大な影響を受けた。

（ウ）チケット販売システムの改善

インターネットで座席を選択して購入する場合、席ランクが識別できなかったため、ランクごとに色分けすることにより買い求めやすくした。

（2）主催事業と連動した普及事業等

主催事業の制作過程や事業内容を観客にわかりやすく理解を深め楽しめるものとするため、楽団の公開リハーサルや芸術監督プロデュースオペラのプレレクチャーなどを実施。演劇事業等にもさらに拡充していく。

（ア）公開リハーサル

佐渡芸術監督プロデュースオペラ及び楽団・定期演奏会において公開リハーサルを開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オペラは公演中止、定期演奏会は特別演奏会に差し替えとなったため、公開リハーサルは開催中止。

（イ）ワークショップ等

プロデュースオペラや主催公演の関連事業として、各種のワークショップを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止。

(ウ) バックステージツアー

一般の方を対象に、普段、目にすることのできない劇場の舞台裏や舞台機構、公演準備作業の様子などを案内する見学会を開催。

第1～3回は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止。

内容		開催日	入場者(人)
兵庫県立芸術文化センターのなるほどバックステージツアー2019			
第1回	なるほど「建物と仕事人」編	2. 5. 13 (1回)	開催中止
第2回	夏休みの「わくわく探検隊ツアー」	2. 8. 29 (1回)	開催中止
第3回	なるほど「PACオーケストラ」編	2. 10. 6 10. 7 (各1回)	開催中止
第4回	なるほど「神戸女学院小ホール」編	2. 12. 8 (1回)	52
合 計 1 事業 1 回			52

(エ) 企画展示（共通ロビー情報コーナー「ポッケ」）

内容		開催日
バレエコレクション 企画展示 *故薄井憲二氏(企画制作アドバイザー)の貴重なバレエコレクション(約6,500点)を活用し、その全貌を紹介することでバレエの歴史を概観	薄井憲二バレエ・コレクション常設展 (共通ロビー)	2.4.1～3.3.31
	薄井バレエ・コレクション 2020 企画展 第1回 東勇作と薄井憲二 ～『牧神の午後』と『薔薇の精』を中心に～	2.7.28～9.6
	薄井バレエ・コレクション 2020 企画展 第2回 ルートヴィヒ・カイナートとロベルト・モンテネグロ～バレエ・リュスを描き分けた画家たち～	3. 1. 26～3. 7
主催事業関連企画展示	楽団 2020 年度 PAC 特別公演紹介&楽団員メッセージ&卒団員の活躍	2. 9. 8～2. 10. 18
	兵庫県立芸術文化センター 開館 15 周年～これからの公演予定 もっとカンショウ、もっとカンゲキ～	2. 10. 20～3.1. 4
	これからの演劇・落語公演などの紹介	3. 1. 5～1. 24
	2021 年度 芸術文化センター公演ラインナップ	3.3.8～4. 4

(オ) 薄井憲二バレエ・コレクション

(a) コレクションの活用 (貸出)

故薄井憲二氏が世界各地から収集した世界有数の規模を誇るバレエ関連資料 (書簡、プログラム、絵画・ポスター、書籍等約 6,500 点)、同バレエ・コレクションの概要、展示情報などをインターネットで配信するとともに、美術館等での展示やバレエ公演のパンフレットのために貸し出した。

内 容	貸出先	貸出期間 (開催日)
オン★ステージ新聞 4 月 2 4 日号	(株)青林堂	2. 4. 2 4
横浜アーツフェスティバルのバレエ関連動画	横浜アーツフェスティバル実行委員会	2. 4. 2 8
オン★ステージ新聞 5 月 1 5 日号	(株)青林堂	2. 5. 1 5
帝室劇場とバレエ・リュス	平野 恵美子	2. 5. 2 0
オン★ステージ新聞 6 月 5 日号	(株)青林堂	2. 6. 5
オン★ステージ新聞 6 月 1 2 日号	(株)青林堂	2. 6. 5
毎日新聞 7 月 1 3 日夕刊	毎日新聞社	2. 7. 1 3
ひょうごアーティスト動画配信事業 「がんばろうひょうご! つながろうアート!」	関 典子	2 8. 4
名作バレエ 7 0 鑑賞入門 (渡辺真著)	株式会社世界文化社	2. 8. 5
オン★ステージ新聞 9 月 4 日号	(株)青林堂	2. 8. 2 8
日本バレエ協会会報 (年 3 回発行)	公益社団法人 日本バレエ協会	2. 1 0. 7
オン★ステージ新聞 1 0 月 3 0 日号	(株)青林堂	2. 1 0. 2 3
オン★ステージ新聞 1 0 月 1 6 日号	(株)青林堂	2. 1 0. 9
オン★ステージ新聞 1 1 月 2 7 日号	(株)青林堂	2. 1 1. 2 0
薄井憲二バレエ・コレクション特別展 「バレエ・リュスと美術家たち」	公益財団法人 尼崎市文化振興財団	2. 1 1. 2 1 ～ 1 2. 1 3
公益財団法人吉野石膏美術財団 調査 研究報告書 第 3 号	公益財団法人吉野石膏美術財団	2. 1 2. 2 0
オン★ステージ新聞 1 月 2 2 日号	(株)青林堂	3. 1. 1 5
卒業論文「能『鷹姫』の「岩」の役割」	味方 和 (神戸大学国際人間科学部)	3. 1. 2 0

日本アレンスキー協会 NEWS LETTER No. 20	日本アレンスキー協会	3. 2. 1
「現代版バレエ『ジゼル』の解析と分析（神戸大学国際人間科学部発達コミュニティ学科「発達コミュニティ演習2」研究発表資料）	長野 里音（神戸大学国際人間科学部）	3. 2. 5
『眠れる森の美女』公演プログラム	公益財団法人 新国立劇場運営財団	3. 2. 2 0 ～2. 2 3
新たな劇場整備に関するリーフレット	横浜市	3. 3. 7
オン★ステージ新聞 3月19日号	(株)青林堂	3. 3. 1 2
熊川哲也 K バレエ カンパニー「白鳥の湖」公演プログラム	株式会社 TBS テレビ	3. 3. 2 4
ZOOM によるオンラインセミナー アンナ・パヴロワ：帝室バレエから世界へ	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター	3. 3. 4

（b） 目録の作成

コレクションを活用して、当センターの広報宣伝・普及活動を充実させるとともに、バレエの歴史・芸術性の理解を通じてバレエ公演の一層の普及を図るため、故薄井憲二氏監修のもと、コレクションを体系化した目録として整理している。

＊第1巻 プログラム・台本（平成23年度）、第2巻 書籍・楽譜（平成24年度）、第3巻 アンティークプリント・手紙・サイン・切手他（平成26年度）、第4巻 写真・ポストカード・衣裳・陶器・メダル・コイン他（平成27年度）

4 東日本大震災復興祈念等の継続的な取組

- ・スーパーキッズ・オーケストラの継続的な東日本大震災被災地訪問演奏活動
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。
- ・東日本大震災復興祈念等事業資金
センター職員が、外部の委員会（芸術文化関連）の委員として従事したり、大学等で講義・講演を行う場合の報酬等や大口の寄附金収入等を「東日本大震災復興祈念等事業資金」として管理した。
 - ① 財源：委員謝金、寄附金、表彰副賞 等
(委員謝金：41件 1,299千円、講師謝金：67件 11,163千円 (H23～R2))
＊第2回貝原俊民美しい兵庫づくり賞副賞（地域政策研究会 500千円）、神戸新聞平和賞副賞（神戸新聞 300千円）、福島原発事故賠償金（東京電力 7,386千円）、大口の寄附金（H25:2,000千円、H26:4,000千円、H29:50,000千円）等
 - ② 充当事業
 - (ア) スーパーキッズ・オーケストラによる被災地訪問演奏
 - (イ) PACメンバーによる被災地アウトリーチ活動
 - (ウ) プロデュースオペラ、楽団定期演奏会等への被災者招待 等
- ・スーパーキッズ・オーケストラ事業推進資産
サントリーホールディングス(株)がスーパーキッズ・オーケストラの設立趣旨や東日本大震災復興祈念活動に賛同して寄附（平成26年度）いただいた150,000千円を原資に東北への訪問、合宿等の事業活動（平成27年度から10年間）を展開（サントリー「東北サンさんプロジェクト」の一環）

【芸術文化センター広報・普及活動 評価】

(1) 広報活動

- 新型コロナウイルスに係る公演中止等が相次ぎ、通常の広報活動はほとんど行えなかったが、代わりに実施した、「HPAC すみれの花咲く頃プロジェクト」の YouTube 配信や「6/19 オーケストラ公演の再開に向けて ～ディスカッションとデモ演奏～」や心の広場プロジェクト「7/23・24「どんな時も歌、歌、歌！～佐渡裕のオペラで会いましょう」における芸文センターの新型コロナウイルス感染症対策の取り組みは、多くのマスメディアに取り上げられ、全国から注目されるに至り、高いPR効果を得た。
- 新型コロナウイルスの影響により急遽公演が中止になるなど、従来の会報誌等の紙媒体では連絡が間に合わないケースが多く、早く、低コストで実施できる Web サイトやメールマガジン、Twitter などによる告知が有効で頻繁に利用したが、どうしても連絡漏れの人が出てしまうことが課題として残った。
(現在約 70%の先行予約会員のメールアドレス登録率の増を検討。)

(2) 会員制度

- 無料の先行予約会員制度により、会員約 54,000 人を確保し、リピーターの確保を図るとともに、毎月の会報誌送付等を行った。新型コロナウイルスの影響で公演開催の見通しが立たない中、先行予約は休止したが、公演ごとに発売日を設定し、月間発売一覧を送付することにより、発売日に6割以上を販売するなど、経済的・効率的なチケット販売を実現した。

(3) チケット販売

- インターネット予約の普及・定着 (NET 比率が全体で6割以上、発売初日受付開始 30 分間で8割以上) により、チケットオフィスの電話予約の集中が緩和され「長時間電話が繋がらない」等のクレームが激減した。
- 電話交換機に通話録音装置及び自動応答装置を導入し、通話録音による聞き間違い防止や予約混雑時でも問合せ専用窓口に繋がるようにすることで、電話予約サービス品質向上を図った。
- 多くの要望に応え、インターネット購入時の座席の選択画面で席ランクが識別できるようにシステムを改修した。

(4) 主催事業と連動した普及事業等

- 新型コロナウイルスの影響により、オペラおよび楽団定期演奏会が中止となったため、例年開催している公開リハーサル、ワークショップは実施できなかった。
バックステージツアーは 12 月 8 日の「なるほど神戸女学院小ホール編」のみ感染予防対策に努めながら、実施した。参加者からは大変好評を得て、センターのソフト・ハードさらには舞台芸術への関心を深めた。

(5) 企画展示

- 情報コーナー「ポッケ」(共通ロビーに設置)は、新型コロナウイルスの影響により、4 月 8 日から 7 月 27 日まで閉鎖となったが、7 月 28 日より薄井憲二バレエ・コレクションの企画展で再開。新型コロナウイルスのため大きなイベントは開催できなかったが、秋には「開館 15 周年～これからの公演予定 もっとカンショウ、もっとカンゲキ～」で今後のラインナップを紹介。公演と連動した様々な展示を常時実施し、興味を喚起し、知識を深める場を提供した。

(6) 被災地復興祈念の取組

- 阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして誕生した県立劇場として、大口の寄付金等を有効に活用しながら、佐渡裕芸術監督のもとスーパーキッズ・オーケストラによる東北への復興祈念演奏活動の実施など、継続して被災地を応援してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。

5 施設の管理運営事業（発表・交流の場の提供）

施設運営の基本コンセプト

- ① 発信する劇場としてセンター・楽団自主企画事業を中心に運営
- ② 専門性の高い劇場（機能・設備・スタッフ）の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進
- ③ 県民の多様な創造活動の発表の場、劇場空間への親しみ・交流機会を通じて芸術文化の裾野拡大
- ④ フレキシブルで使い勝手の良い運営、開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

① 施設の管理運営

* 施設利用（貸館）受付の状況

- ・ 本格的舞台芸術公演の優先利用受付（１８か月前受付）
毎月１日から１８か月後の月分を受付
- ・ 一般（貸館）利用受付

a ホール（１２か月前受付）

毎月１日に翌年度の当該月分を受付。受付開始後は４か月前の末日までに随時受付

【ホール利用実績】令和２年４月～３年３月

ホール	開館日数		利用日数		利用日数内訳	
	基準	実績	基準	実績	主催事業	貸館事業
KOBELCO 大ホール	290	267	203 (70%)	220 (108.4%) [82.4%]	199 [90.5%]	21 [9.5%]
阪急 中ホール		255		215 (105.9%) [84.3%]	190 [88.4%]	25 [11.6%]
神戸女学院 小ホール		262		204 (100.5%) [77.9%]	85 [41.7%]	119 [58.3%]

※ 基準：県収支枠組における施設維持管理費、スタッフ配置、施設使用料収入の算定基礎としたもの

※ 利用日数の（）内：利用日数（基準）と比較した利用率、〔〕内：開館日数（計画）と比較した利用率

※ 利用日数内訳の〔〕内：主催事業、貸館事業の比率

b スタジオ、リハーサル室（３か月前受付）

毎月１日に３か月後の月分を受付。受付開始後は、前日まで随時受付。

【リハーサル室・スタジオ利用】（令和２年４月～３年３月）

施設名			開館日数	利用日数
リハーサル室	1	331㎡（ピアノ有り）	237	147〔62.0%〕
	2	88㎡（ピアノ有り）	230	203〔88.3%〕
スタジオ	1	22㎡	226	148〔65.5%〕
	2	22㎡	227	177〔78.0%〕
	3	22㎡（ピアノ有り）	224	149〔66.5%〕
	4	11㎡（ピアノ有り）	228	228〔100.0%〕
	5	82㎡（ピアノ有り）	230	221〔96.1%〕

*施設（ホール、リハーサル室・スタジオ）利用登録件数（累計） 3,984

＜ホール別の貸館事業数・公演数＞（令和２年４月～３年３月）

区分	KOBELCO 大ホール	阪急 中ホール	神戸女学院小ホール	計
貸館事業	15 事業 17 公演	21 事業 25 公演	105 事業 117 公演	141 事業 159 公演

（＊芸術文化センター各ホール公演総数（主催＋貸館 479 公演）

【付属駐車場利用】（令和２年４月～３年３月）

施設名	開館日数	利用台数（台）
付属駐車場	2 5 9	延べ利用台数 1 0, 1 4 3

【利用料収入】

（単位：円、税込）

施設名		金 額	
		R 2	R 元(参考)
区分	大ホール	8, 879, 660	47, 020, 370
	中ホール	4, 721, 350	12, 920, 440
	小ホール	7, 428, 210	23, 315, 760
	リハーサル室	1, 978, 475	3, 344, 500
	スタジオ	2, 843, 050	4, 744, 250
ホール等計		25, 850, 745	91, 345, 320
附属設備		16, 486, 450	37, 225, 250
附属駐車場		5, 256, 000	13, 660, 650
合 計		47, 593, 195	142, 231, 220

（ア）人材育成

（a）舞台技術関係者等の育成

舞台技術の現場に携わるスタッフや舞台技術専攻学生等を対象に、センターの舞台設備を活用して、劇場のあり方・技術向上の観点から舞台技術を継承・発展、創造活動支援を促進。（舞台技術セミナー：令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止）

（b）アートマネジメント講座の開催

文化施設職員等を対象に、アートマネジメントに必要な専門的知識・技術を習得させることを目的として開催。

内 容		開催日	参加者 (人)
第 1 回	「文化政策の動向」 講師：文化庁企画調整課企画調整官 山田亜紀子氏	3. 2. 19	18
第 2 回	「新型コロナウイルス感染症と舞台芸術活動」 講師：藤田医科大学医学部教授 吉田友昭氏 兵庫県立芸術文化センター事業部 事業専門員 古屋靖人氏	3. 3. 10	30
合 計		2 事業 2 回	48

(c) アートマネジメント関係の人材育成 ほか

事業名	期間	参加者	参加者(人)	備考
大学でのアートマネジメント講座	2. 5. 15	神戸大学	110	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	2. 6. 5	神戸大学	110	講師派遣 (1人)
大学での文化施設運営講座	2. 7. 16	政策研究大学院大学	16	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	2. 8. 25	大阪音楽大学	21	講師派遣 (1人)
芸文センターでのアートマネジメント講座	2. 9. 22	大阪音楽大学	21	運営業務
大学でのアートマネジメント講座	2. 10. 14	大阪音楽大学	20	講師派遣 (1人)
大学での文化施設運営講座	2. 12. 18	政策研究大学院大学	47	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	2. 4. 2 ～3. 3. 23	大阪芸術大学	60	講師派遣 (1人)
大学でのアートマネジメント講座	2. 7. 28	神戸大学大学院	40	講師派遣 (1人)
インターンシップ	2. 8. 27～29、 2. 9. 5～6	京都女子大学	2	運営業務
劇場職員セミナー	3. 1. 21	愛知県芸術劇場、 名古屋市文化振興事業団	40	講師派遣 (2人)

(d) 体験学習等

兵庫県教育委員会が実施する、中学2年生を対象とした「トライやる・ウィーク」事業の参加者を受け入れてきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止

(イ) 地域連携・にぎわいづくり事業

(a) 西北活性化協議会

芸術文化センターの開館を機に、センターを核とした地域全体の振興発展と活性化を目的に平成18年4月1日に設立(構成:アクタ西宮振興会、にしきた商店街、芸術文化センター、阪急西宮ガーデンズ)。センターと地元が一体となって様々なイベントを実施し、地域のにぎわいを創出。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「にしきたオペラウィーク&前夜祭」、「にしきた音楽祭〈LALALA ミュージシャンコンテスト〉」、「クリスマスイベント」は開催中止

〔令和2年度〕（2020年度）イベント等

内 容	開催日	参加者 (人)
LALALA にしきた “グランプリスペシャルコンサート”		
過去の「LALALA にしきたミュージシャンコンテスト」グランプリ受賞者によるスペシャルコンサートを開催 (阪急中ホール) 司会：ひぐちのりこ	2. 10. 23	161

(b) 地元企業との連携

県内外からのお客様へのホスピタリティの向上の一環として、常日頃から関係の深い地元企業職員をホールに招き相互研修会を開催（阪急タクシー、阪急西宮北口駅）

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催中止

② 公立ホール等との連携

(ア) 公立文化施設協議会等

兵庫県公立文化施設協議会（加盟 36 ホール）会長（事務局）、全国公立文化施設協会近畿地区支部委員、多面・大規模舞台劇場協議会メンバーとして県内外ホール間の連携を深めた。

＊兵庫県公立文化施設協議会（第1回幹事会・定例総会 9月24日、第2回幹事会 12月23日、研修会 令和3年2月26日）

(イ) 公共劇場舞台技術者連絡会

公共劇場舞台技術者連絡会（公立の劇場やホールで舞台芸術を支える劇場技術者が連携して平成21年設立：加盟 25 ホール）の副会長として、舞台技術員が参画し、各劇場間の諸問題の調査研究、情報交換等を通して、公演の円滑な進行管理と安全確保、技術的専門性の確立を目指した。

(ウ) 主な全国の公立ホール整備への支援

センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイス。

〔参考〕・仙台市（宮城県）：「兵庫・芸術文化センター」をモデルに復興のシンボルとして「新音楽ホール」整備。平成27年度予算に「調査費」2,000万円を計上。経済界では「音楽ホール建設基金」が始動。音楽関係者が「楽都・仙台に復興祈念『2,000席規模の音楽ホール』を！市民会議」を設立

・堺市（大阪府）：旧市民会館にかわる「フェニーチェ堺」（堺市民芸術文化ホール）を新設。令和元年10月オープン

・枚方市（大阪府）：老朽化した市民会館にかわる「総合文化施設」（枚方市総合文化芸術センター）を整備。平成27年2月に公募型プロポーザル方式により設計事業者選定。平成27年度設計業務着手。平成29年度着工、令和3年度供用開始予定

・高槻市（大阪府）：老朽化した市民会館の建替。平成27年度基本計画策定。平成28年度設計業務。令和元年度建設工事着手、令和4年度開館予定

・姫路市：姫路市文化事業の推進のため、姫路駅東側のキャストィ21イベントゾーン内に「知と文化・産業の交流拠点」をコンセプトに文化コンベンション施設を整備。「アクエリひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）」として令和3年9月開館予定。

・札幌市：札幌市の文化事業振興のため、平成30年に完成した札幌文化芸術劇場に導入する舞台機構のシステム構築に係る助言を求められ、舞台機構アドバイザーとして当センターの舞台技術の専門職員を意見交換会に派遣（平成29年度）

＊その他、全国から視察を受入

③ 各ホールネーミングライツ・スポンサー

【愛称の使用期間】

令和2年4月1日から令和5年3月31日まで（3年間） ＊5期目

【ネーミングライツスポンサー及び愛称】

正式名称	ネーミングライツスポンサー	愛 称	金 額
大ホール	株式会社神戸製鋼所	KOBELCO 大ホール	3,000 万円（税抜）
中ホール	阪急電鉄株式会社	阪急 中ホール	1,500 万円（税抜）
小ホール	学校法人神戸女学院	神戸女学院小ホール	500 万円（税抜）

（主な表示物）看板、ポスター、チラシ、会報誌、情報誌、広告、ホームページ、チケット

④ 賛助会員制度及び各種助成制度の活用等

（ア）賛助会員制度

自主企画事業の充実、センター及び楽団の活動を広く県民に理解してもらうための広報宣伝などセンターの多彩な活動を支援いただくため、文化に関心を寄せる県内主要企業、地元企業等を対象に賛助会員を募った。（令和3年3月現在 18社）

【実 績】 特別賛助会員 ゴールド会員（3,000 千円） 1 社

シルバー会員（1,000 千円） 3 社

一般賛助会員 14 社 29 口（1 口 50 千円）

計 745 万円

（イ）各種助成制度

県補助金をベースに経営効率を高めるとともに、ファンの期待に応えるメニュー充実、舞台グレードアップ、公演数拡大、広報強化等の資金として、文化庁や民間財団等の公的助成の積極的な獲得に努めた。

＊（独法）日本芸術文化振興会 劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活性化事業、文化施設の感染予防・活動支援環境整備事業、（特非）映像産業振興機構 コンテンツグローバル需要創出促進事業（J-LODlive）ほか

【実 績】（独法）日本芸術文化振興会（劇場・音楽堂等機能強化推進事業、舞台芸術創造活性化事業、文化施設の感染予防・活動支援環境整備事業） 24 事業

（特非）映像産業振興機構（コンテンツグローバル需要創出促進事業） 1 事業

（一財）地域創造 1 事業

（公財）三菱UFJ信託芸術文化財団 1 事業

（一財）みなと銀行文化振興財団 1 事業

（一財）畑崎財団 1 事業

（公財）野村財団 1 事業

計 6,738 万円

（ウ）民間支援の受入れ（主なもの）

（a） NPO法人イエロー・エンジェル（理事長：宗次徳二氏・名古屋市）による
コントラバスの無償貸与。

コントラバス名：ヤナリス・ガリアーノ（1776年・イタリア製）ほか

（b） 株式会社松尾楽器商会からピアノ「スタインウェイ」1台を無償貸与。

（エ）多額寄附金の活用

三村正之氏からの寄附

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団をはじめとした、新進音楽家の活動支援及び次世代を担う子どもたちの音楽体験活動を支援。

金額 50,000 千円（「Aloha Mimura 基金（兵庫県立芸術文化センター音楽振興資産）」として管理・運営。H29 から 5 年を目途に音楽事業活動に充当。

⑤ 中長期的取り組み

（ア）芸術文化センター運営委員会

センターの運営について、運営委員会を開催し、事業の中長期的企画、事業展開、施設運営全般に関して経営面など幅広い観点から検討・意見交換を行う。

【時 期】 令和 3 年 1 月開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期（令和 3 年 7 月開催予定）。

【委 員】 学識者、舞台芸術の専門家、マスコミ・経済界のリーダー、センター関係者等

（イ）次年度以降の事業計画づくり

多彩な舞台芸術を創造・発信していく芸術文化センター及び同管弦楽団の次年度以降の事業展開に向けて、芸術監督とともに長期的な計画づくりを進め、企画検討、事前調査、出演者等の交渉・調整、プランの作成、舞台の制作準備など、事業準備を行った。

【施設の管理・運営事業（交流・発表の場の提供） 評価】

【新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応】

- 新型コロナウイルス感染症に係る兵庫県対処方針に基づく芸術文化センターの休館・休業や収容人数及び公演時間に対する利用制限、イベントの自粛要請などによって、令和2年度は、貸館の230事業241公演が中止された。
- 貸館利用日ベース前年比、大ホールで63%減(57→21日)、中ホールで50%減(50→25日)、小ホールで48%減(227→119日)と軒並み半減となっており、リハーサル室(2室)やスタジオ(5室)も同様に25～44%減となった。
- 貸館利用者への支援策として、新型コロナウイルス感染症対策を理由とする公演中止については、キャンセル料の免除を実施し、令和2年度は総額64,164千円となった。
- 新型コロナウイルス感染防止のために、各ホール及びスタジオ、楽屋口、地下入口にサーモグラフィや自動体温測定装置、非接触体温計、アルコール消毒液を整備したほか、各ホールの楽屋に除菌効果のある空気清浄機や各室の換気効率を高めるため網戸を新設した。
- 各ホールの全客席及び扉手すりなどに抗菌処理、小ホールは舞台、バックヤードを含めて床・壁・天井の空間全体に抗菌処理を実施するとともに、清掃の際に除菌を実施。
- 緊急事態宣言やまん延防止措置が実施される度に、施設利用料収入が大きく落ち込む一方、感染予防対策が新たに施設管理コストに加わることになり、管理・運営事業の収支悪化が課題となっている。

(1) 施設の運営・発表の場の提供

- 大規模修繕(I128)により安全・安心に施設設備を運営できており、省エネ化、バリアフリー化対応も増進できている。
- 年間イベント数 約360(令和2年度 主催等178・貸館159 普及イベント等19 計356)
令和2年度公演入場者数 主催90,664人・貸館29,750人、普及イベント・ホール出演者・その他施設利用者等102,548人 計222,962人
- 年間ホール実質稼働日数 令和2年度 228日 *大・中・小ホールのいずれかの稼働日数
施設利用率(利用日数/開館日数)は各ホールとも基準利用率70%を大幅に上回る高い利用率を維持。県民の鑑賞・創造活動の場としてフルに機能し、安全・安心・快適な劇場として県民に親しまれている。(R2 施設稼働率:KOBELCO 大ホール 82.4%、阪急 中ホール 84.3%、神戸女学院小ホール 77.9%)
- また、施設に対する満足度では、主催事業(観客)、貸館(利用者)とも総じて高い評価を得ている。
- ネーミングライツ支援(年間5,000万円)を受け、安定的な運営を確保した。
*令和2年4月1日から令和5年3月31日まで(3年間)5期目
- 上質で多様な演目を提供することにより、“芸文センターファン”の方々から様々な形で寄附をいただくとともに、賛助会員の募集、文化庁や民間財団等からの公的助成の獲得など、多様な財源の確保に努めた。

(2) 人材育成

- アートマネジメント講座をはじめ各種研修会開催(会場提供含む)、さらに職員の大学等講師派遣などを通じて、舞台芸術界を支える人材育成(基盤整備)にも取り組んでいる。

(3) 地域連携・にぎわいづくり

- 西北活性化協議会を中心に、「音楽溢れる街づくり」を合言葉に、毎年、LALALA ミュージシャン・コンテストを開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、コンテストの開催を断念した。その代わりに歴代のグランプリ受賞者10組による“グランプリ・スペシャルコンサート”を阪急中ホールで10月24日に開催。
また、昨年中止になった第13回グランプリ受賞者 futarinote によるグランプリ・プレミアムコンサートを3月20日にプレホールで開催。コロナ禍においても、地域の方々と共に、にぎわいと一体感形成に寄与した。
- 平成18年度から兵庫県公立文化施設協議会会長館に就任、県内文化施設(36館)ネットワークの中核的役割を果たすとともに、国内の主要施設として、広域的なホール連携を実施した。
- 主な全国の公立ホール整備への支援として、センター職員の委員就任や視察受入、講演等を通じてアドバイスをを行った。(堺市、枚方市、姫路市 ほか)

【今後の展開と中長期的課題】

7つのコンセプト(事業展開と施設管理運営)の維持・展開

ソフト:①多彩な舞台芸術の『創造・発信』、②『幅広いニーズ』に応える上演、③舞台芸術の『普及』・県民の創造活動の支援

ハード:①自主企画事業を中心に運営、②専門性の高い劇場の特性が生かされる舞台芸術公演の利用促進、③芸術文化の裾野拡大、④開放性と賑わいで街づくりの一翼を形成

「震災復興のシンボル」として兵庫から東北そして熊本へ

阪神・淡路大震災からの復興のシンボルとして誕生した当センターとして、東日本大震災及び熊本地震の復興祈念の取組を継続していく。

コロナ禍での安心・安全の確保とこれまでの好調さの安定・継続＋新たな挑戦

「開館20周年」に向け、①長期的な県収支フレーム(予算)をベースに継続的な充実財源の確保、②安全・安心な施設運営と安定的なソフト展開の土台となる設備・施設維持と改良、③優れた人材の確保・養成による運営体制の安定継続を図る。

＊高稼働率の施設・設備を支えるための大規模修繕・長期改修の着実な計画の実施

＊新型コロナウイルスの影響の下で、観客、出演者、職員、スタッフの安全・安心を確保しながらにぎわいのある公演を展開していく方策を模索

[コロナ禍の課題]

- コロナ禍においても公演を実施したいが、収容人数の制限(1/2)がかかると赤字となるジレンマが生じており、事業継続のための資金確保が課題。
- 制限緩和後、追加販売しても周知が行き届かず、マスコミCMの多い共催公演を除き、追加の券売が伸び悩む。
- 海外渡航制限による海外アーティスト(指揮者・ソリスト・スペシャルゲストプレイヤー)の招聘が困難なためバラエティに富んだ公演をラインナップできない。また、来日の見通しが立たず、公演開催の可否が直前まで決定しないため、公演1か月前まで遅らざるを得ない状況が続き、効果的な販売が難しい。
- 公演製作時の感染防止のため出演者・舞台関係者の稽古時、劇場入り等のタイミングで実施するPCR検査の対応や清掃の徹底・スタッフの増員、チケットの払い戻し対応など感染対策の経費・業務量が増加。
- エキストラ・プレイヤーなどフリーランスの収入確保支援(文化芸術活動の継続支援事業の活用等)による担い手の継続

令和２年度芸術文化センター来館者総数

(１) 公演入場者

ホール名	公演入場者数（人）
KOBELCO 大ホール	64,217
阪急 中ホール	38,708
神戸女学院 小ホール	17,489
計	120,414
	主催：90,664 貸館：29,750

(２) 総来館者数

公演入場者	120,414 人
広報・普及イベント参加者	9,078 人
ホール出演者・スタッフ等	21,381 人
リハーサル室・スタジオ利用者	14,563 人
チケット購入者・レストラン利用者・共通ロビー来館者等	57,526 人
計	222,962 人

(参考) 開館以来の来館者総数

項目	公演入場者数（人）	各種来館者数（人）	計
平成 17 年度	151,809	207,051	358,860
平成 18 年度	494,746	295,635	790,381
平成 19 年度	537,176	301,662	838,838
平成 20 年度	536,202	285,211	821,413
平成 21 年度	538,020	280,278	818,298
平成 22 年度	536,453	264,830	801,283
平成 23 年度	499,039	240,106	739,145
平成 24 年度	498,524	244,887	743,411
平成 25 年度	509,952	251,643	761,595
平成 26 年度	486,525	244,939	731,464
平成 27 年度	499,550	284,776	784,326
平成 28 年度	478,393	229,702	708,095
平成 29 年度	537,021	248,851	785,872
平成 30 年度	529,050	258,331	787,381
令和元年度	471,241	233,076	704,317
令和２年度	120,414	102,548	222,962
計	7,424,115	3,973,526	11,397,641

受賞 ～栄誉ある評価～

- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H19. 1. 11 関西元気文化圏推進協議会]
- ・関西元気文化圏賞特別賞 [H23. 1. 20 関西元気文化圏推進協議会]
- ・地域創造大賞（総務大臣賞） [H23. 1. 21 (財)地域創造]
- ・神戸新聞平和賞「佐渡裕と兵庫芸術文化センター管弦楽団」[H23. 5. 3 (株)神戸新聞社]
＊賞金（30 万円）は東日本大震災被災地へのPACコアメンバーによるアウトリーチ活動等に活用
- ・関西元気文化圏賞 10 周年記念特別賞「佐渡裕芸術監督」[H25. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第 29 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「兵庫芸術文化センター管弦楽団」
[H29. 4. 24 (一財)ミュージック・ペンクラブ・ジャパン]
- ・貝原俊民美しい兵庫づくり賞「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」[H29. 11. 22(一財)地域政策研究会]
- ・関西元気文化圏賞ニューパワー賞「スーパーキッズ・オーケストラ」[H31. 1. 22 関西元気文化圏推進協議会]
- ・第 44 回神戸キワニス青少年ボランティア賞「スーパーキッズ・オーケストラ」 [R1. 12. 4 神戸キワニスクラブ]

感謝状

- ・西宮市消防局（芸術文化センターにおける消防用設備の充実と、職員への防災教育の徹底により、消防行政の推進に貢献している功績に対して）H27. 3. 6
- ・宝塚市（1 月 17 日宝塚市犠牲者慰霊式でのPACメンバーの追悼演奏に対して）H27. 3. 14
- ・(公財) 音楽の力による復興センター・東北（復興のシンボルとしての新音楽ホール創設(仙台市)に向けた支援や、東日本大震災復興祈念の継続的な取組に対して）H28. 3. 11

〔尼崎青少年創造劇場関係〕

新型コロナウイルス感染症拡大への対応

基本方針

「新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定による感染症対策の徹底及び安全・安心な運営

- ◆令和2年4月7日：新型インフルエンザ等対策特別措置法による「緊急事態宣言」発出（措置期間：4/8～5/6まで、のち5/31まで延長）

臨時休館（4月8日～5月31日）

兵庫県対応方針により、4/8～5/31の間、臨時休館（6/1：通常休館）

業務再開（6月2日～30日）

総合案内、施設利用受付、貸館業務、ピッコロ劇団公演準備など

本館の改修工事に伴う休館（7月1日～8月31日）

- ・ 事務室は開室し、貸館以外の業務に対応
- ・ 夏のファミリー劇場「とっととといてよ！シャーロック・ホームズ」は伊丹の東リ いたみホールにて上演（8/15～16）

施設再開（9月1日～）

【主なコロナ対応策】

〔席数半減等〕

三密の回避に向けて、いずれの主催事業・公演も席数・参加者数を定員の半数以下に抑えたほか、劇団員・関係スタッフのPCR検査の公演前実施をはじめとする各種感染防止対策の徹底を図るなど万全の体制で臨んだ。

〔貸館利用者にも感染予防対応の徹底〕

貸館事業においても、利用者に感染予防ガイドラインの遵守をお願いするとともに、緊急事態宣言中はホール・練習室の定員を半数以下で利用するよう徹底を図った。

- ① 「#またピッコロで会いましょう プロジェクト」の立ち上げ、PR動画などのコンテンツ（朗読ムービー、劇場探検ツアー、歌唱リレーなど）配信（5月から順次実施）
- ② 「尼崎青少年創造劇場新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」の策定（5月21日）
- ③ 館内の衛生面での感染予防対策（4月以降順次対応）
- ④ ピッコロ劇団員及び関係スタッフへの劇団公演前PCR検査の実施（8月以降）
- ⑤ ファミリー劇場でのコロナ禍ならではの工夫（8月15～16日、12月19～20日）
- ⑥ ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校について、半年間の短縮カリキュラムによる体験プログラムとして開催（9月スタート）
- ⑦ ピッコロサポートクラブ会員と劇団員とのオンライン交流会（12月6日）

※ 具体的には次ページ参照

- ◆令和3年1月13日：「緊急事態宣言」発出（2回目）

（措置期間：1/14～2/7まで、のち3/7まで延長後、3/1解除 開催・施設利用制限は3/7まで）

イベント制限を踏まえた開館

- ・ 開催制限
 - ① 収容率要件 50%以下
 - ② 20時までの開館時間短縮
- ・ 施設利用制限
20時までの利用（ただし、予約済みの施設利用には適用しない）

※ 事業の詳細は、以下の報告内に記載

【主なコロナ対応策】

- 1 「#またピッコロで会いましょう プロジェクト」の立ち上げ、PR動画などのコンテンツ（朗読ムービー、劇場探検ツアー、歌唱リレーなど）配信（5月から順次実施）
 - ・ ピッコロ劇団員が「#またピッコロで会いましょう プロジェクト」を立ち上げ、地元の民話・古典落語の紙芝居や児童文学の朗読ムービー、劇場探検ツアー、ピッコロ劇団員による歌唱リレー、演劇作品の名台詞紹介などをオンラインで配信
 - ・ ピッコロシアターの歴史・取組などを紹介するPR動画（劇場編、演劇学校・舞台技術学校編、ピッコロ劇団編）を制作し、ホームページ等で配信
- 2 館内の衛生面での感染予防対策（4月以降順次対応）
 - ・ 館内への手指消毒液、受付設置用アクリル板の設置、サーモグラフィなど検温システムの整備、兵庫県新型コロナ追跡システムの活用、練習室及び楽屋への空気清浄機の設置、別館稽古場の換気設備設置など
 - ・ 特別清掃（大ホール客席の全シートなどへの除菌・抗ウイルス加工）の実施
- 3 ピッコロ劇団員及び関係スタッフへの劇団公演前PCR検査の実施（8月以降）

令和2年度第1回目の劇団公演となった夏のファミリー劇場（東りいたみホール）での上演以降、各公演前に実施
- 4 ファミリー劇場でのコロナ禍ならではの工夫（8月15～16日、12月19～20日）
 - ・ 親子・家族で楽しめるよう配席の並びを工夫したり、登場人物のイラストを空席の背もたれに貼り付けるなど、楽しい雰囲気づくりを醸成
 - ・ 12月の芸術文化センター公演では、終演後の役者と会場の子どもたちとの例年のふれあいタイムに替えて、役者と観客が一体となってクリスマスソングを振り付けや手拍子で演出し、会場を盛り上げた（振付を上演の約2週間前からネットで動画配信）
- 5 ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校について、半年間の短縮カリキュラムによる体験プログラムとして開催（9月スタート）
 - ・ 毎授業、参加者全員が検温・手指消毒を行い、常時マスク着用、アクリルボードの併用、参加者同士の距離を十分にとるなどの感染防止対策を徹底
 - ・ 開講前から予習動画をインターネット配信して、参加者の学習意欲向上に配慮
 - ・ 2、3月には、観客を入れての両校合同の卒業公演に代えて、関係者のみの立ち合い（無観客）でコースごとの学習成果発表会を開催
- 6 ピッコロサポートクラブ会員と劇団員のオンライン交流会（12月6日）

総会や交流会、稽古見学会の開催をとりやめ、代わりに会員と劇団員とのオンライン交流会を試行的に開催。